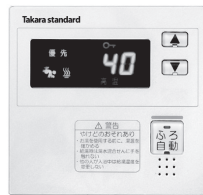
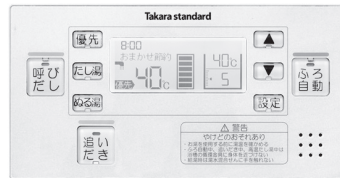
Takara standard

エコキュート
取扱説明書

保証書別添

家庭用自然冷媒 CO_2 ヒートポンプ給湯機
「時間帯別電灯」／
「季節別時間帯別電灯」対応　通電制御型

コントローラセット：EC-CS7
メインコントローラ
フロコントローラ

フルオート（ふろ全自動）タイプ

システム品番	ヒートポンプ品番	貯湯ユニット品番
EQS3708UFA-NS	THP-SU45-L	EC-3708KU-FANS
EQS4608UFA-NS	THP-MU60-L	EC-4608KU-FANS
EQS3708UFA-NE 【耐塩害仕様】	THP-SU45-L-BS	EC-3708KU-FANE
EQS4608UFA-NE 【耐塩害仕様】	THP-MU60-L-BS	EC-4608KU-FANE
EQS3708UFA-KS 【寒冷地仕様】	THP-LUK45-L	EC-3708KU-FAKS
EQS4608UFA-KS 【寒冷地仕様】	THP-LUK60-L	EC-4608KU-FAKS

※漏水検知仕様はシステム品番、貯湯ユニット品番の末尾に「R」が追加されます。

このたびは、タカラスタンダード エコキュートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

◆ご使用前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、 正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」については、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。
◆この取扱説明書はいつでもご覧になれる場所に、大切に保管してください。保証書に販売店名、お引渡し日などが記入されていることを、必ずお確かめください。
◆エコキュートの名称は電力会社、販売メーカーが推奨する自然冷媒ヒートポンプ給湯機の愛称です。

この給湯機は申請により、通電制御型として料金割引が適用になります。ご使用の前に、必ず最寄りの電力会社営業所または据付工事店に確認してください。取替え設置の場合でも、忘れずに確認してください。

もくじ

ご使用の前に

ご使用方法

◆給湯・おふろ

◆湯沸し

◆コントローラ

メンテナンス

こんなときは

安全上のご注意　必ずお守りください

■ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
　安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。		誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容。

●お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

	禁止行為（してはいけないこと） 絶対に行わないでください。		**行為の指示（必ずすること）** 必ず指示に従い行ってください。		アース工事の確認

⚠警告

■貯湯ユニット・ヒートポンプユニット

禁止

絶対に分解・修理・改造・移設しない
火災・感電・けがの原因になります。修理・移設は販売店（据付工事店）にご相談ください。

禁止

給湯機の近くにガス類や引火物を置かない
発火の原因になります。

禁止

ヒートポンプ配管に手を触れない
やけどの原因になります。

必ず実行

異常・故障時には、直ちに使用を中止する
発煙・火災・感電・やけどの原因になります。
次のようなことがある場合は、故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、漏電しゃ断器を「OFF（切）」にして、販売店（据付工事店）または修理受付フリーダイヤルに点検・修理（有料）をご相談ください。
・使用中にこげくさい臭いがしたり、異常な音や振動がする。
・設置場所が濡れている。
・お湯がぬるい。
・漏電しゃ断器が動作する。
・その他の異常・故障がある。

エラーが表示されている場合は P.59

アース線接続

アース工事されているか確認する
故障や漏電の時に感電の原因になります。
アースの取り付けは販売店（据付工事店）にご相談ください。

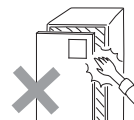
■貯湯ユニット

禁止

漏電しゃ断器は、濡れた手で操作しない
感電の原因になります。

禁止

前面カバー・工事窓を開けない
感電の原因になります。

禁止

逃し弁点検時は、内部の配管・逃し弁の排水管に手を触れない
やけどの原因になります。

禁止

排水時やおたすけコック使用時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触れない
やけどの原因になります。

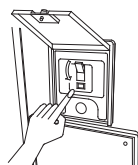
必ず実行

お手入れや点検後は、操作部のふたを必ず閉じる
感電の原因になります。

必ず実行

漏電しゃ断器の動作を確認する
漏電しゃ断器が故障のまま使用すると漏電時に感電の原因になります。

点検方法は P.46

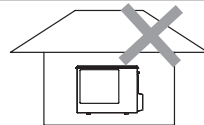
必ず実行

おたすけコックは、タンクの湯温が下がってから使用する
取水時に熱湯が出たり、ホースが熱くなるなどで、やけどの原因になります。

⚠警告

■ヒートポンプユニット

禁止

ヒートポンプユニットは、屋内に設置しない
万一、冷媒（CO_2）が漏れると、酸欠により死亡または、重傷事故（脳機能障害）に至ることがあります。

禁止

ヒートポンプユニットのアルミ部分（吸込口）に触ったり、空気吸込口・吹出口に手や棒を入れたりしない
けが・故障の原因になります。

■給湯・ふろ

禁止

給湯時は、じゃ口（湯水混合せん）のハンドル以外の部分に手を触れない
やけどの原因になります。

禁止

循環金具のカバーがゆるんでいたり、はずしたまま使用しない
髪の毛などが吸い込まれ取れなくなるなど、思わぬ事故の原因になります。

禁止

使いはじめは、しばらくお湯に触れない
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散ることがあります。

禁止

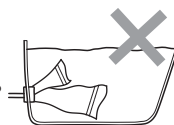
循環金具付近で潜らない
髪の毛などが吸い込まれ取れなくなるなど、思わぬ事故の原因になります。

禁止

子どもだけで浴室内で遊ばせない
熱いお湯が出て、やけどの原因になります。
また、浴槽の循環金具付近に近づいたり、潜ったりすると、思わぬ事故の原因になります。
特に小さなお子さまのいるご家庭では注意してください。

禁止

浴槽の循環金具は、手足やタオルでふさいだり、体を近づけたりしない
熱いお湯が出て、
やけどの原因になります。
また、故障の原因になります。

禁止

浴槽にお湯がないときは、追いだき・たし湯をしない
やけどの原因になります。
浴槽にお湯がないときでも、循環金具から熱いお湯が出ます。
特に浴槽や循環金具のお手入れを行うときは、注意してください。

必ず実行

給湯温度の変更は、他のじゃ口（湯水混合せん）の使用状況を確認してから行う
やけどの原因になります。
特に浴室でシャワーを使用しているときなどは、注意してください。

必ず実行

シャワー使用時や入浴時は、最初に手で湯温を確かめる
やけどの原因になります。

必ず実行

停電時や停電復帰後にお湯を使用するときは、必ず湯温を確かめてから使用する
湯温が調節できず、高温のお湯が出ることがあるため、やけどの原因になります。

➡ P.53

必ず実行

「ふろ自動」「追いだき」「たし湯」「高温たし湯」を行う場合は、浴槽の循環金具から離れる
やけどの原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

■貯湯ユニット・ヒートポンプユニット

禁止

特殊用途には使用しない

一般家庭の使いかた以外では使用しないでください。
能力不足や思わぬ電気料金がかかったり、製品の性能・品質低下や寿命が短くなることがあります。

禁止

機器に乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えたりしない

事故・やけど・水漏れの原因になります。

禁止

高圧洗浄機等で水洗いしない

漏電による火災・感電の原因となります。

必ず実行

水道水を使用していることを確認する

必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
井戸水・地下水・温泉水は使用できません。水道水であっても塩分・石灰分・その他不純物が多く含まれている水質や、酸性水質での使用はさけてください。
機器の詰まりや腐食など故障の原因になります。

必ず実行

お手入れや点検時は、漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF（切）」にする

ヒートポンプユニットのファンが回転するため、けがの原因になります。

必ず実行

1か月以上使用しないときは、水抜きをする

凍結のおそれや水質が変化することがあります。
1か月未満の使用しないときでも凍結のおそれがあるときは水抜きをしてください。 ➡ P.54

必ず実行

給湯機の周りに落ち葉などがたまらないようにする

虫などが侵入し、故障や発火・発煙の原因になります。

必ず実行

凍結予防対策の確認をする

凍結するとタンクや配管が破損して、やけどや水漏れの原因になります。 ➡ P.52

必ず実行

凍結のおそれがあるとき、漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF（切）」にする場合は、水抜きを確実にする

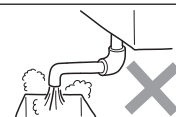
配管が凍結し、水漏れの原因になります。 水抜き方法は ➡ P.54

■貯湯ユニット

禁止

タンクの熱湯は直接排水しない

やけどや排水管を傷めることがあります。お湯を使い切ってから排水してください。

禁止

タンクを満水にせずに、電源を入れたままにしない

故障の原因になります。
給湯機へ給水する手順は ➡ P.12

必ず実行

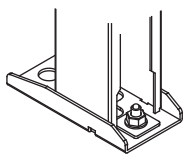
逃し弁の点検をする

タンクが破損したり、逃し弁などからの水漏れにより、やけどや大きな被害につながります。
逃し弁の点検方法は ➡ P.46

必ず実行

脚がアンカーボルトで固定してあるか確認する

地震などにより本体が倒れ、けがの原因になります。

必ず実行

床面が防水・排水処理されていることを据付工事店へ確認する

水漏れが起きた場合、階下などに被害を及ぼすおそれがあり、大きな被害につながります。

■ヒートポンプユニット

禁止

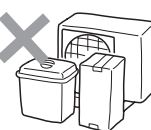
動植物に直接風をあてない

動植物に悪影響を及ぼすことがあります。

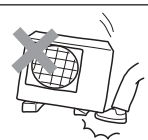
禁止

吹込口や吹出し口をふさがない

能力低下や故障の原因になります。

禁止

ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない

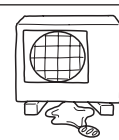
落下・転倒し、けがの原因になります。

禁止

ヒートポンプユニットの真下に濡れて困るものは置かない

ドレン水が排水されます。

⚠注意

■給湯・ふろ

禁止

そのまま飲用しない

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管の劣化などにより水質が変わることがあります。
飲用される場合は、下記のことに注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてください。

・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
・お湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は雑用水としてお使いください。
・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せず直ちに販売店（据付工事店）へ点検の依頼を行ってください。

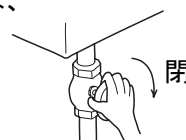
ご使用にあたってのお願い

■貯湯ユニット・ヒートポンプユニット

●給湯機が浴室など湿気の多い場所に取り付けられていないか確認する

・感電や誤動作の原因になります。
・メインコントローラは、屋外や浴室などの湿気の多い場所やガス燃焼機器のそばなど　高温になる所に取り付けないでください。誤動作の原因になります。
・浴室にはフロコントローラを取り付けてください。

●機器の給水配管止水せんがどこにあるか確認する

・タンク内の水抜き・万一の水漏れ・故障の際に閉じると水が止まります。
・ふだん給湯機を使用しているときは、開いておきます。

■給湯・ふろ

●夜間時間帯のご使用について

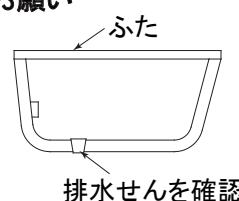
給湯機は主に夜間時間帯にお湯を沸します。そのため、夜間時間帯にお湯を使用すると、翌日の湯量が少なくなったり、昼間に沸増しをして電気代が高くなったりすることがあります。

●お湯を上手に使う

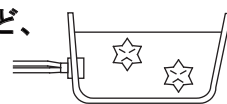
ふろの残り湯を沸し直すよりも、再度湯はりした方が効率的です。
1 日に使用できるお湯の量には限りがあります。
・お湯は容器に受けて使いましょう。
・シャワーは出し放しにしないでこまめに止めましょう。

●ふろ自動運転をするときのお願い

ふろ自動運転をするときは、次のことを注意してください。
・浴槽の残水を排水して排水せんを閉じる。
・浴槽にふたをする。

禁止

硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、機器の腐食、故障の原因になるので使用しない

●浴槽の水を毎日入れかえるなど、衛生的に入浴する

健康を害することがあります。

●タオル、浴槽が青くなることがあります

使用地域の水質や給湯機の銅配管により薄青くなることがあります。これは、水中に溶け出したわずかな銅イオンとせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応したもので、人体に害はありません。

●「追いだき」「たし湯」についてのお願い

追いだきやたし湯（高温たし湯）を行うと浴槽の循環金具から、熱いお湯が出ます。
特にお子さまや高齢者の方の取り扱いについては、注意してください。

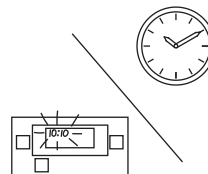
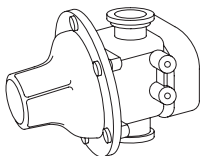
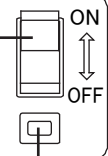
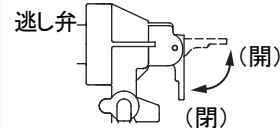
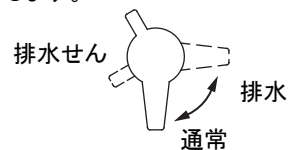
■コントローラ

禁止

コントローラに水をかけない

メインコントローラは防水タイプではありません。
フロコントローラは防水タイプですが、シャワーなどで直接水をかけないでください。
故障の原因になります。

●コントローラの時刻を確認する

現在時刻がずれている場合は、時刻を合わせ直してください。
時刻がずれているとタンクのお湯を沸かす時に電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金が割高になることがあります。

各部の名称と働き（貯湯ユニット）

⚠警告	工事窓は開けないでください。感電するおそれがあります。

【お知らせ】

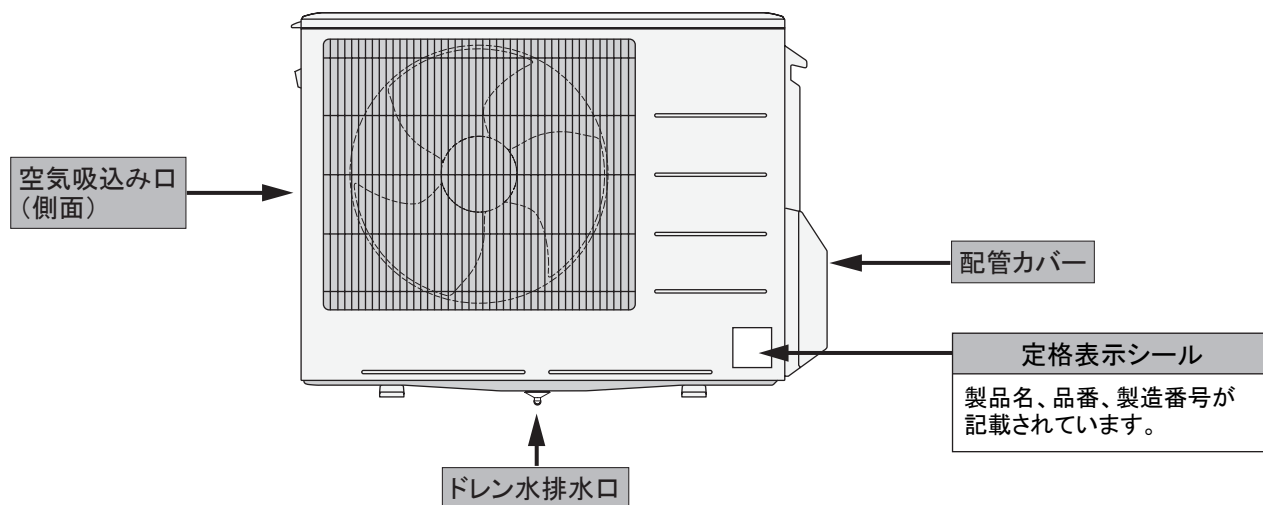
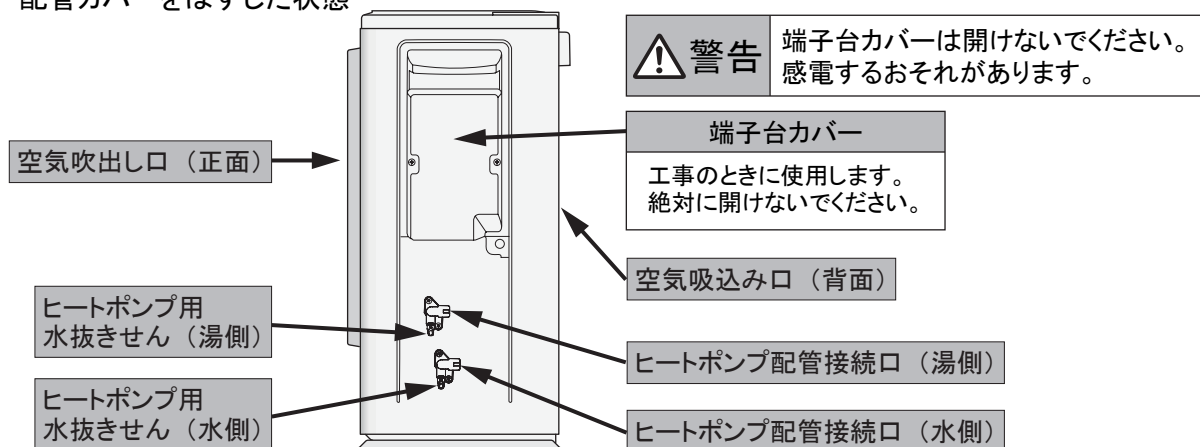
○EQS**08UFA−**R は、給湯機内で漏水が発生した場合、エラー表示の「E891」がコントローラに表示されます。
　ただし、給湯機の電源が入っていない場合や停電時には、表示されません。

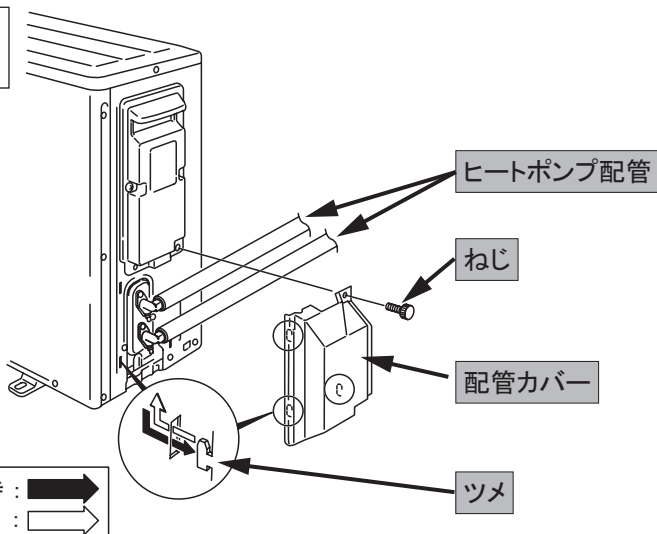
○給湯機不使用時に電源を切る場合や停電時には、必ず給水配管止水せんを閉じてください。

各部の名称と働き（ヒートポンプユニット）

ヒートポンプユニット

【お知らせ】
○機種により形状が若干異なります。

正面図

側面図 配管カバーをはずした状態

●配管カバーの取りはずしかた
（1）ねじ 1 本をはずす。
（2）配管カバーを下にスライドさせて
　ツメ 3 か所を外し、手前に引く。

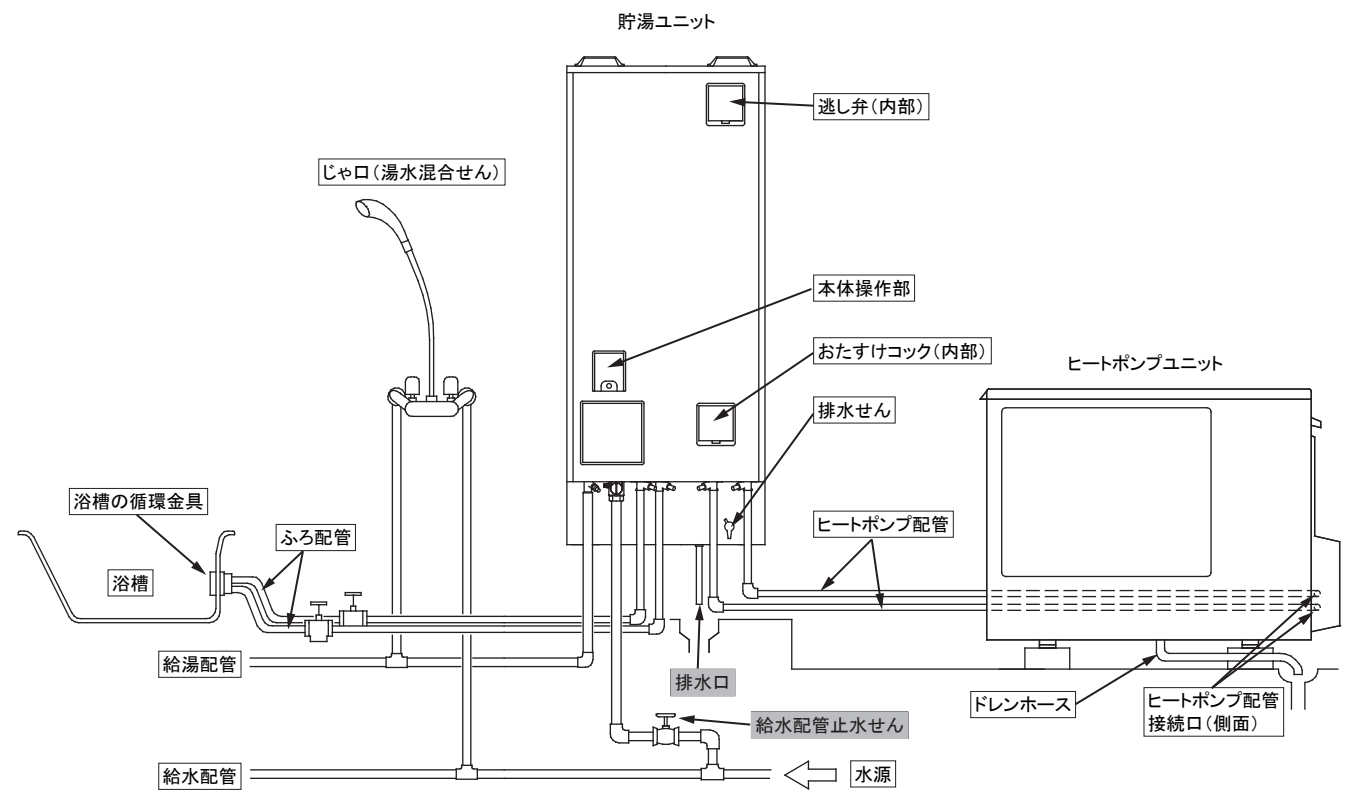
●配管カバーの取り付けかた
（1）配管カバーを押し込み、上にスライドさせて
　ツメ 3 か所をはめる。
（2）ねじ 1 本を締める。

各部の名称と働き（本体据付例・配線例）

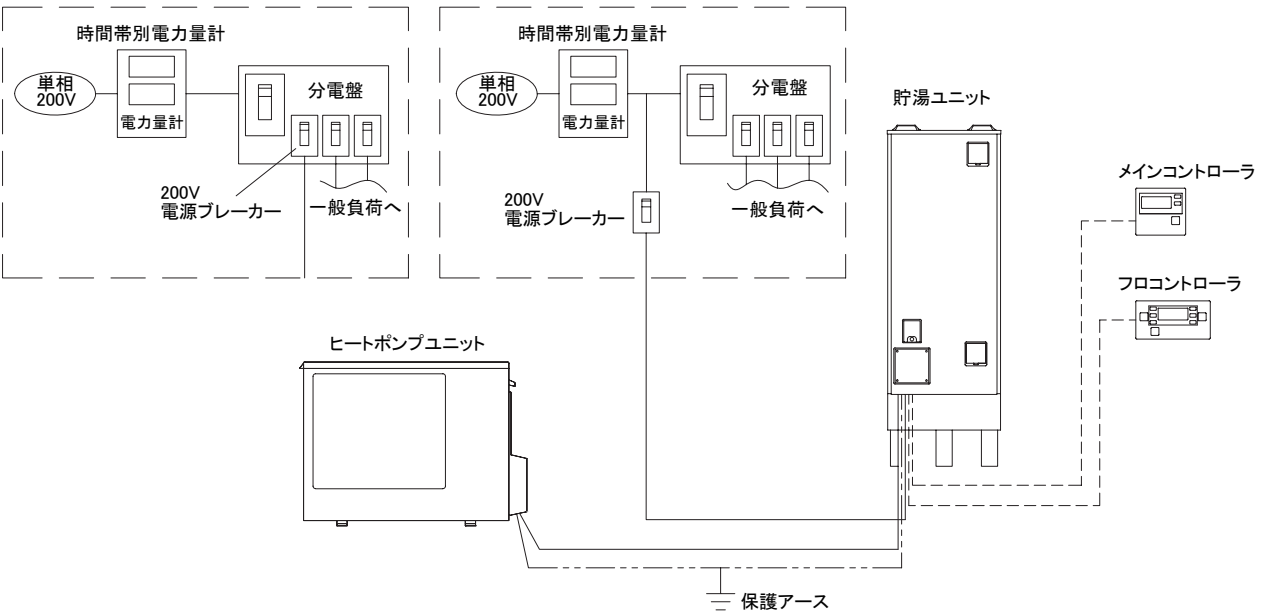
本体据付例

屋外設置標準配管例
地域や設置場所により工事内容が若干異なることがあります。

排水口　タンクの排水時や、湯沸し中に、お湯や水が出ます。

給水配管止水せん　水源の「開」「閉」に使用します。

【お知らせ】
湯沸し時は、排水口より、
お湯（水）が少量出ますが、
故障ではありません。

配線例

時間帯別電灯契約と季節別時間帯別電灯契約の電気配線例
電力制度及び電気配線回路は、販売店または据付工事店に確認してください。

各部の名称と働き（コントローラ本体）

メインコントローラ

給湯温度表示 エラー表示

通常は給湯設定温度を表示します。
・給湯温度の設定については P.17

エラー発生時は、故障内容をエラー表示（点滅）します。
・エラー表示内容については P.59

優先表示

給湯温度設定の優先権がメインコントローラにあるときに点灯します。
・優先権については P.17

出湯表示

シャワーなどが出湯中のときに点灯します。
・表示については P.17

湯沸し表示

タンクの湯沸し、沸増し中に点灯します。
・表示については P.30、34、36、37

チャイルドロック表示

チャイルドロック設定時に点滅します。
・チャイルドロックについては P.39

上下スイッチ

給湯温度を変更するときに押します。
・給湯温度の設定は P.17

高温表示

給湯温度が55℃以上の設定のときに、約10秒間点滅した後表示します。
・表示については P.17

ふろ自動スイッチ

ふろ自動運転をするときに押します。
・ふろ自動運転のながれについては P.18
・ふろ自動運転については P.21

ブザー

確認音が出ます。

品番シール

メインコントローラの品番を表示します。

フロコントローラ

優先スイッチ（チャイルドロックスイッチ）

給湯温度を変更する優先権を切り替えるときに押します。
・優先権については P.17
3秒間押し続けるとチャイルドロックが設定されます。
・チャイルドロックについては P.39

たし湯スイッチ（高温たし湯スイッチ）

浴槽のお湯を増やすときに押します。
高温たし湯とたし湯が選べます。
・使用方法は P.24

呼びだしスイッチ

浴室から人を呼びだすときに押します。
・使用方法は P.38

ぬる湯スイッチ

浴槽に水をたすときに押します。
・使用方法は P.25

追いだきスイッチ

浴槽の湯温を上げたいときに押します。
・使用方法は P.22

バックライト

スイッチを押すか、給湯機を使うと約1分間（初期設定）バックライトが点灯します。
・バックライトの設定方法は P.43

表示画面

時刻・湯沸し設定・残湯量・給湯温度・ふろ温度・エラー表示などを表示します。
・表示内容については P.10

上下スイッチ

給湯温度を変更するときに押します。
設定モード中は選択対象を変えます。
・給湯温度の設定は P.17
・設定モードの一覧は P.11

ふろ自動スイッチ

ふろ自動運転をするときに押します。
・ふろ自動運転のながれについては P.18
・ふろ自動運転については P.21

設定スイッチ

沸増しやふろ温度などの設定をするときに押します。
・設定モードの一覧は P.11

ブザー

確認音が出ます。

品番シール

フロコントローラの品番を表示します。

【お知らせ】
ご使用の前に、コントローラ表面の保護シートを取りはずしてください。

保護シート

各部の名称と働き（コントローラの表示）

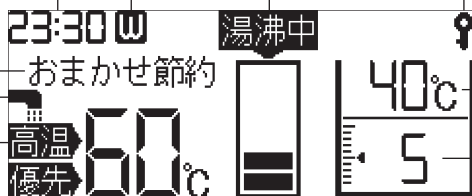
フロコントローラ表示部

●残湯量の目安

表　示							のこりわずか	湯切れ注意	
EQS3708UFA-**(R)	320L以上	320L～250L	250L～200L	200L～150L	150L～100L	100L～50L	50L未満		
EQS4608UFA-**(R)	410L以上	410L～340L	340L～270L	270L～200L	200L～120L	120L～50L	50L未満		

※残湯量が 50L より少なくなると、“のこりわずか”表示となります。“のこりわずか”の状態で給湯や湯はりを行い、お湯が出せなくなると、“湯切れ注意”が表示されます。“湯切れ注意”表示は、沸増しや夜間湯沸しによって、残湯量が 50L 以上（1 目盛り以上）になるまで表示します。

※目安の模様が　　となっている場合は、残湯温度が低いため、ふろ追いだきや自動保温ができない場合があります。

（例）EQS3708UFA-**（R）の場合
○残湯量 220L、残湯温度 80℃だと 　○残湯量 220L、残湯温度 46℃だと

●湯沸し表示

表　示	湯沸し状態	詳細ページ	表　示	湯沸し状態	詳細ページ
湯沸中	夜間湯沸し中	—	沸増	湯切れ沸増し中	36 ページ
沸増	学習追加沸増し中	34 ページ	沸増	夜間不足分沸増し中	37 ページ
沸増	おまかせ節約追加沸増し中	34 ページ	沸増	ふろ自動沸増し中	37 ページ
休止中	本日湯沸し休止中	31 ページ		ヒートポンプ凍結予防運転中	52 ページ
沸増中	沸増し中	30 ページ			

各部の名称と働き（コントローラ設定項目）

設定モード

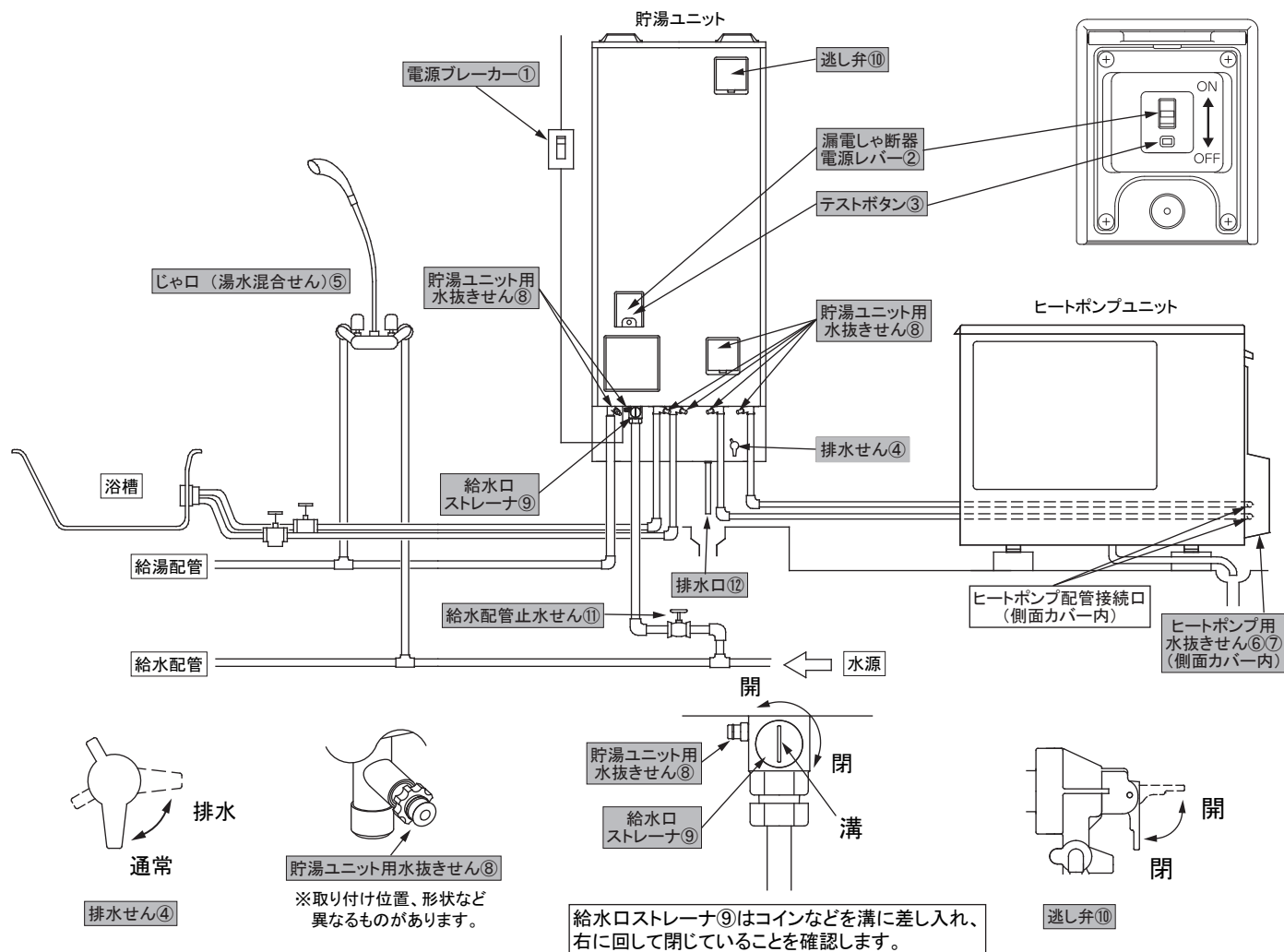
フロコントローラの 設定 を押すと設定モードに入ります。

設定項目①	設定項目②	内容	初期設定	ページ
湯沸し設定	本日湯沸し休止	本日の夜間湯沸し開始までの湯沸しを停止します。	切	31 ページ
	沸増し	タンクのお湯がたりないとき昼間の湯沸しをします。	解除	30 ページ
	湯沸しモード	タンクの湯沸し量を変更します。	おまかせ節約	34 ページ
	湯沸し停止日数	旅行などで湯沸しの必要がないとき、設定します。	解除	32 ページ
	夜間満タン※1	夜間にタンク全量を湯沸しします。	切	35 ページ
	ウィークリー湯沸し※1	1 週間のうち決まった曜日のみ湯沸しするとき、設定します。	切	33 ページ
	湯切れ沸増し量	湯切れ予防のため、自動で沸増しを始める残湯量を変更します。	※2	36 ページ
	夜間不足分沸増し	夜間の湯沸しで不足している量を昼間に自動で沸増しします。	※3	37 ページ
	ふろ自動沸増し	ふろ自動運転中にタンク湯温が冷めて、自動保温ができなくなったら自動で沸増しします。	禁止	
ふろ設定	ふろ温度	ふろの設定温度を変更します。	40℃	20 ページ
	ふろ水位	ふろの設定水位を変更します。	5	
	ふろ予約運転	お好みの時間に入浴できるよう自動湯はりを行います。	切	26 ページ
	クリーニング	ふろ配管のクリーニングを行います。	切	48 ページ
	保温時間	ふろ自動運転の保温運転時間を設定します。	1 時間	29 ページ
	自動たし湯	ふろ保温運転中に自動でたし湯をします。	入	
	湯はりモード	ふろ自動運転の湯はり方法を設定します。	標準	19 ページ
	追いだき設定	追いだきの方法を設定します。	循環	28 ページ
	自動配管洗浄	ふろ自動運転終了後の排水時に、ふろ配管を水で洗浄します。	切	27 ページ
音 / 表示設定	スイッチ操作音	スイッチ操作音の「入」「切」を選びます。	入	44 ページ
	文字ガイド	文字によるガイドを表示します。	入	42 ページ
	バックライト	液晶画面のバックライトを設定します。	1 分自動消灯	43 ページ
	給湯バックライト	給湯使用時に液晶画面のバックライトが点灯します。	入	
	コントラスト	液晶画面のコントラストを設定します。	5	
使用湯量チェック	今日の使用湯量	今日の使用湯量と残り湯量を 43℃換算で表示します。	—	40 ページ
	曜日別使用湯量	最近の曜日別 1 週間分の使用湯量を棒グラフで表示します。	—	41 ページ
	月別使用湯量	最近の月別 1 年間分の使用湯量を棒グラフで表示します。	—	
その他設定	時刻合わせ	現在時刻を合わせます。	2015 年 1 月 1 日 13 時 00 分	16 ページ
	水抜きモード	タンクの水抜きを行うときに使用します。	切	54 ページ
	電力設定	ご契約の電力制度を設定します。	T08-1	14 ページ
	湯はり情報クリア	浴槽の形状などのデータを消去します。	しない	50 ページ
	湯沸し学習クリア	湯沸しの学習データを消去します。	しない	51 ページ
	設定クリア	設定モードの内容を初期設定値に戻します。	しない	45 ページ
	販売店連絡先	お買い上げの販売店連絡先を表示します。※4	—	裏表紙

※1 湯沸し停止日数が設定されている場合は設定できません。
※2 湯沸しモードにより異なります。（おまかせ節約 : 70L、おまかせ : 150L）
※3 湯沸しモードにより異なります。（おまかせ節約 : 禁止、おまかせ : 許可）
※4 販売店連絡先が設定されている場合のみ電話番号を表示します。

・設定モード中に呼びだし・優先・たし湯・ぬる湯・追いだき・ふろ自動スイッチを押すと、設定モードは解除されます。

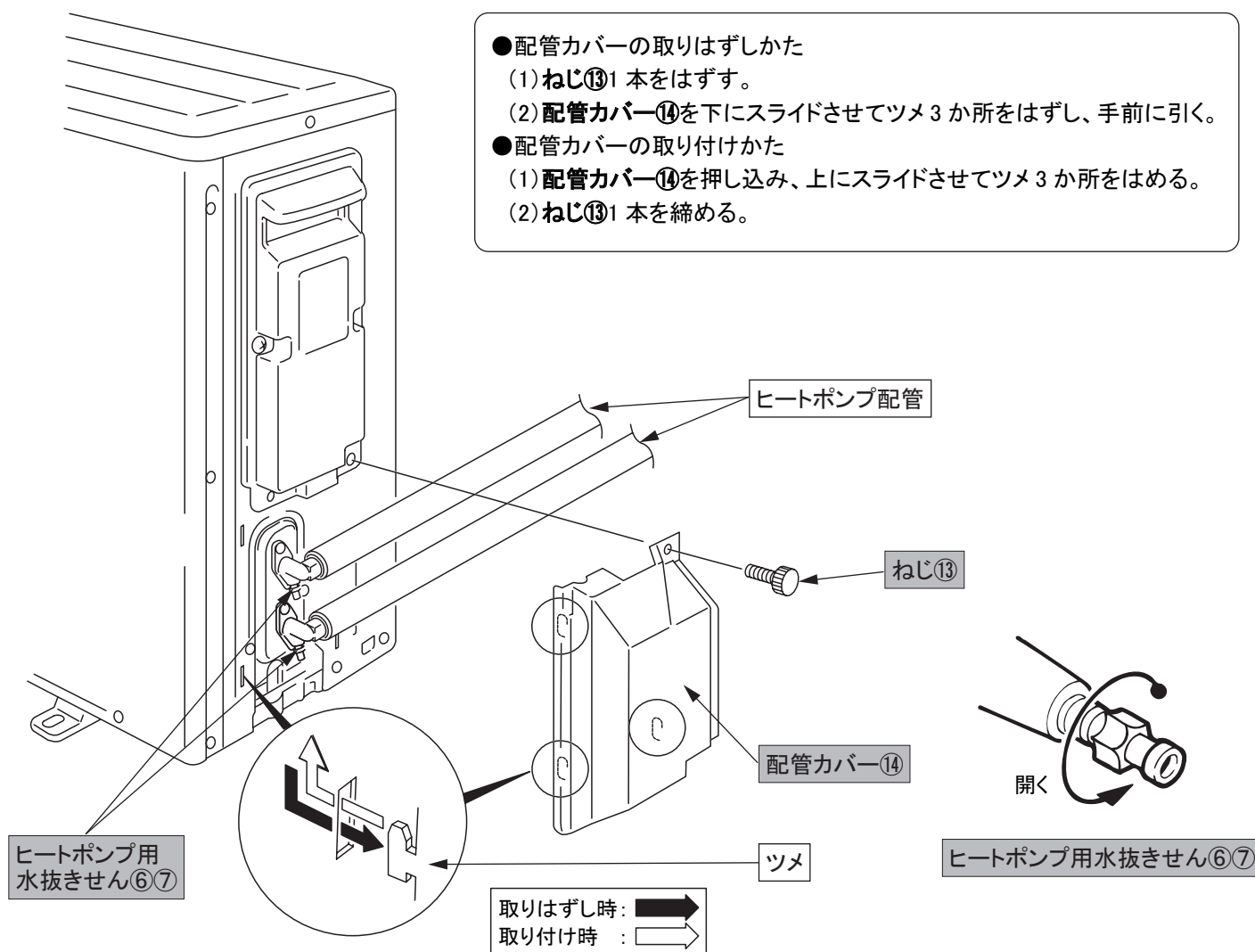
ご使用前の準備

■給湯機の使い始めや、水抜き後に給湯機を使い始める場合は、次の手順で操作してください。
■方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

1 給水の準備をします。

1. 貯湯ユニット用の**電源ブレーカー①**と**漏電しゃ断器電源レバー②**を「ON（入）」にし、コントローラの画面が表示されることを確認してください。
2. 約 30 秒後に貯湯ユニット用の**電源ブレーカー①**を「OFF（切）」にします。**テストボタン③**を押しても**漏電しゃ断器電源レバー②**が「OFF（切）」にならないことを確認してください。
3. **漏電しゃ断器電源レバー②**を「OFF（切）」にします。
4. **排水せん④**を「通常」にします。
5. すべての**じゃ口（湯水混合せん）⑤**を閉じます。（開いていると給水に時間がかかることがあります。）
6. **ヒートポンプ用水抜きせん⑥⑦**（2 か所）、**貯湯ユニット用水抜きせん⑧**（7 か所）、**給水口ストレーナ⑨**のすべてを閉じます。

2 貯湯ユニットを満水にします。

1. **逃し弁⑩**のレバーを上げ、**給水配管止水せん⑪**を開きます。
2. **排水口⑫**から水が勢いよく出てきたら、**逃し弁⑩**のレバーを下げます。
3. **じゃ口（湯水混合せん）⑤**を湯側全開で開けて、空気まじりの水から連続的に水が出ることを確認します。
4. **じゃ口（湯水混合せん）⑤**を閉じます。

【お知らせ】
○貯湯ユニットが空の状態から、満水になるまで約 30 分かかります。（機種により多少異なります。）
○給水中に排水口から水と空気が混ざりボコボコと音がすることがありますが、異常ではありません。
　水が勢いよく出るまでお待ちください。

3 ヒートポンプ配管の空気抜きを行います。

1. **ヒートポンプ用水抜きせん⑥⑦**(2 か所)を開きます。
2. 水と空気を 1 ～ 2 分出し、空気が混ざらなくなるのを確認します。
3. **ヒートポンプ用水抜きせん⑥⑦**(2 か所)を閉じます。
4. 各配管の接続部から水漏れがないか確認します。

4 電源を入れます。

1. 貯湯ユニット用の**電源ブレーカー①**と**漏電しゃ断器電源レバー②**を「ON(入)」にします。
2. コントローラの設定をします。

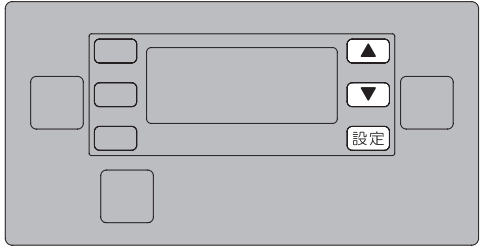
○現在時刻の設定 ➡ P.16
○給湯温度の設定 ➡ P.17
○湯沸しモードの設定 ➡ P.34

電力契約を設定する

フロコントローラで操作します

■契約されている電力制度を設定します。
■電力契約を変更した場合は、必ず設定し直してください。

1

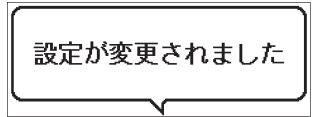
フロコントローラ

2 【電力設定】を選びます。

3 電力設定を選びます。
（次ページ「電力制度の内容」参照）

初期設定	T08-1
選択範囲	T08-1、T08-2、T08-3、 T09-1、T10-1 S08-1、S08-2、S09-1、S10-1

4 【する】を選びます。

5 設定が完了します。

設定が変更されました

ご注意

○時間帯別電灯契約の種類によって電気料金の安価な時間帯が異なります。
　電力制度が合っていないと、電気料金が割高になることがあります。

電力制度の内容（2014年12月現在）

●T08-1（初期設定）

0　7　23　24時
夜間時間帯	昼間時間帯	

北海道電力：ドリーム８（Bパターン）
　　　　　　ドリーム８エコ（Bパターン）
東北電力　：やりくりナイト８
東京電力　：おトクなナイト８
中部電力　：タイムプラン
北陸電力　：エルフナイト８
関西電力　：時間帯別電灯
四国電力　：得トクナイト
　　　　　　電化Deナイト
九州電力　：時間帯別電灯（8時間型）
沖縄電力　：時間帯別電灯

●T08-2

0　6　22　24時
夜間時間帯	昼間時間帯	

北海道電力：ドリーム８（Aパターン）
　　　　　　ドリーム８エコ（Aパターン）

●T08-3

0　8　24時
夜間時間帯	昼間時間帯

北海道電力：ドリーム８（Cパターン）
　　　　　　ドリーム８エコ（Cパターン）

●T09-1

0　8　23　24時
夜間時間帯	昼間時間帯	

中国電力　：エコノミーナイト

●T10-1

0　8　22　24時
夜間時間帯	昼間時間帯	

東北電力　：やりくりナイト10
　　　　　　やりくりナイトS
東京電力　：おトクなナイト10
北陸電力　：エルフナイト10
九州電力　：時間帯別電灯

●S08-1

0　7　10　17　23　24時
夜間時間帯	朝晩（リビング）	昼間（デイタイム）	朝晩（リビング）	

東北電力　：ピークシフト季節別時間帯別電灯
東京電力　：電化上手
　　　　　　ピークシフトプラン
中部電力　：ピークシフト電灯
関西電力　：はぴeタイム
　　　　　　季時別電灯PS
四国電力　：ピークシフト型時間帯別電灯
沖縄電力　：Eeライフ

●S08-2

中部電力　：Eライフプラン

●S09-1

中国電力　：ファミリータイム（プランⅠ）
　　　　　　ファミリータイム（プランⅡ）
　　　　　　電灯ピークシフトプラン

●S10-1

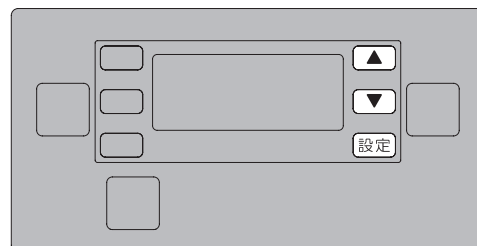
0　8　10　17　22　24時
夜間時間帯	朝晩（リビング）	昼間（デイタイム）	朝晩（リビング）	

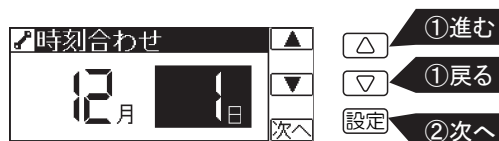
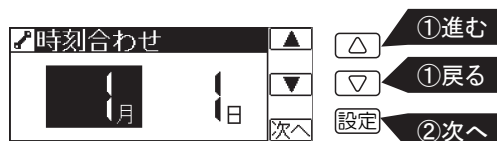
北陸電力　：エルフナイト10プラス
九州電力　：季時別電灯
　　　　　　ピークシフト電灯

※契約している電力制度の内容については、各電力会社にお問い合わせください。
※上記以外の電力制度に関しては、お買い求めの販売店か、お近くの当社支社・支店・営業所にお問い合わせください。
※北海道電力の「eタイム３」でご使用の場合は「T10-1」を選んでください。
※「S**-1」の電力制度の一部には、夜間時間帯以外の設定時間が表記と異なる場合があります。

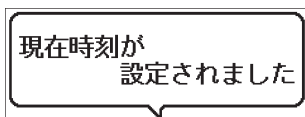
現在時刻を設定する

フロコントローラで操作します

■給湯機をご使用になる前に、必ず現在時刻を確認してください。
■現在時刻が正しくない場合は、時刻を設定し直してください。

2 【時刻合わせ】を選びます。

3 年・月・日を順に設定します。

4 現在時刻を設定します。

5 時刻設定が完了します。

ご使用の前に

ご注意

○時刻が正しく設定されていないと電気料金が割高になることがあります。
特に午前と午後を間違えないでください（24時間表示です）。
○1か月に1回程度、現在時刻が合っているか確認してください。
○停電などにより時刻が若干変動することがあるため、復帰時に現在時刻が合っているか確認してください。

給湯温度の設定

■台所、洗面所、シャワーなどの給湯温度を設定します。
■給湯温度の設定は、「優先」が表示されているコントローラのみ可能です。
　優先権の切り替えは、フロコントローラで行います。

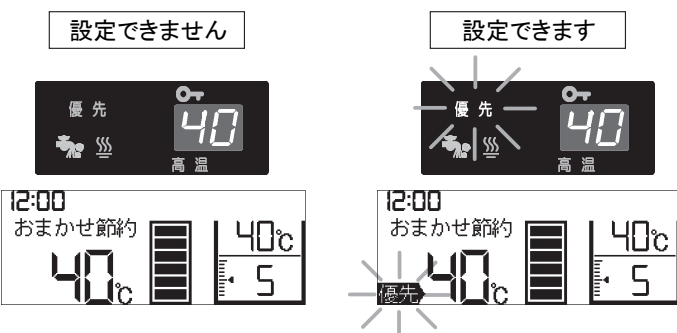
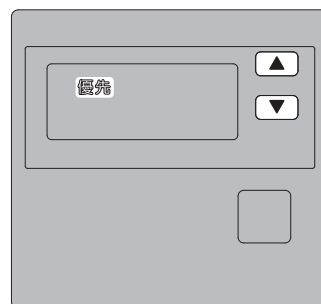
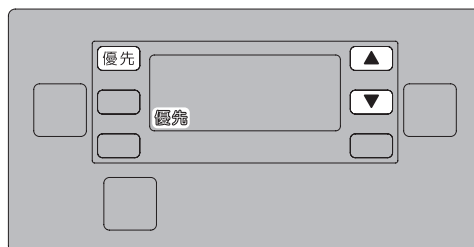
⚠警告	やけどの原因になりますので、以下のことに注意してください。 ・給湯温度の変更前に、他の人がシャワーなどでお湯を使用していないか確認してください。 ・使いはじめ（特に朝の使いはじめ）は、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

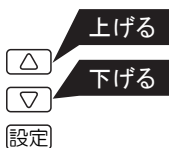
1 給湯温度を設定するコントローラに「優先」が表示（点灯）されていることを確認します。

「優先」が表示されていないとき（メインコントローラは点灯していないとき）は、
フロコントローラの 優先 スイッチを押して優先権を切り替えてください。

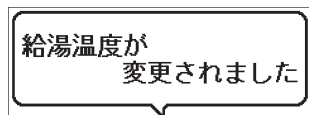
メインコントローラ

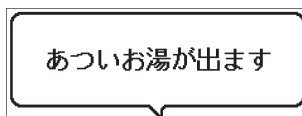
設定できません

設定できます

フロコントローラ

2 温度を選びます。

初期設定	40℃
選択範囲	水温、30℃、35～50℃（1℃刻み）、55℃、60℃

※メインコントローラにおいて水温は「Lo」と表示されます。

3 設定が完了します。

※文字ガイドによるお知らせは
　フロコントローラのみで行います。

55℃、60℃に設定した場合は「高温」表示が約 10 秒間点滅した後、点灯します。

※文字ガイドによるお知らせは
　フロコントローラのみで行います。

ご注意
給湯は湯温を確かめて、湯温が安定してから使用してください。

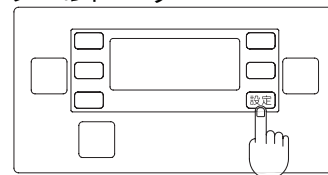
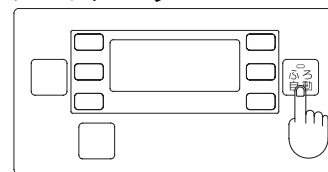
【お知らせ】
○サーモスタット付湯水混合せんの場合は、給湯機の温度設定を、サーモスタット付湯水混合せんの
　設定温度よりも高く設定してご使用ください。
○給湯機からの出湯量が少ないとき（2L/分以下）は温度制御を行いません。
　じゃ口（湯水混合せん）を絞りすぎないでください。給湯制御中は、メインコントローラの が点灯し、
　フロコントローラに が表示されます。
○表示温度と実際の給湯温度は、配管長さなどで異なる場合がありますので目安にしてください。

湯はりする（ふろ自動運転のながれ）

■自動で浴槽に湯はりすることができます。
■自動湯はり完了後は、保温運転を行います。

フロコントローラ

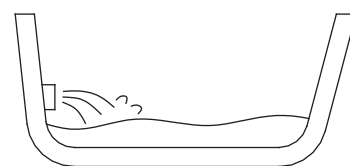
① 湯はりの方法を決める

ふろ自動運転には「標準」と「急速」の2種類があります。
「標準」: 自動たし湯（ P.29）が使用できます。
浴槽に残水がある状態からでも湯はりできます。
「急速」:「標準」よりも短時間で湯はりします。
浴槽は空の状態から始めてください。
湯はり方法を変更するときは P.19

② 湯はりの温度と水位を決める

お好みのふろ温度と水位を設定します。
設定方法は P.20

③ 自動湯はり開始

ふろ自動 を押すと、ふろ自動運転を開始します。

②で設定した温度と水位で自動湯はりを行います。
ふろ自動運転のしかたは P.21

自動湯はり

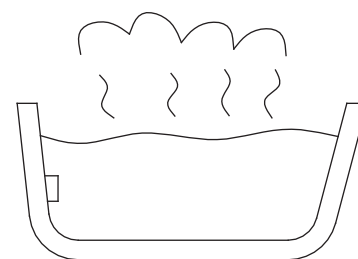
④ 保温運転開始

保温運転中は定期的に循環運転を行い、
浴槽の温度や水位をチェックしています。
○「標準」の場合
自動保温、自動たし湯を行い、ふろの温度と水位を保ちます。
○「急速」の場合
自動保温は行いますが、自動たし湯は行いません。

保温運転時間と自動たし湯の設定は、変更することができます。
（自動たし湯は「標準」の場合のみ）設定方法は P.29

保温運転中も手動で追いだきやたし湯などの操作が行えます。
追いだきについては P.22
高温たし湯・たし湯・ぬる湯については P.24 ～ 25

自動湯はり完了

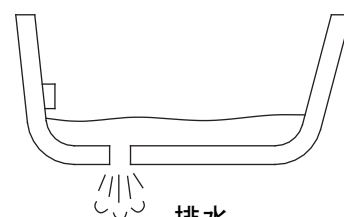
入浴

⑤ ふろ自動運転終了

ふろ自動 を押す、もしくは保温運転時間が経過すると保温運転を終了します。

⑥ 排水

自動配管洗浄を設定すると、ふろ自動終了後、
浴槽の水を排水する時におふろの配管を水で洗い流します。
設定方法は P.27

排水

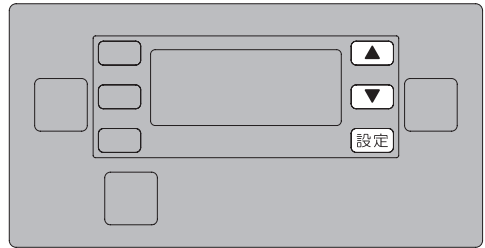
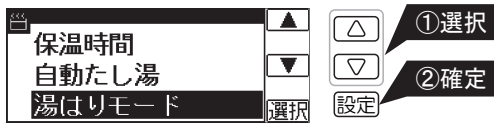
ご使用方法（給湯・おふろ）

湯はりする（湯はりモードの設定）

フロコントローラで操作します

■ふろ自動運転の湯はり方法が選択できます。
■使いかたにあわせて選択してください。

1 設定 を押し、【ふろ設定】を選びます。

フロコントローラ

設定

2 【湯はりモード】を選びます。

3 内容を選びます。

●「標準」
「自動たし湯」機能が使えます。P.29
浴槽に残水がある状態からふろ自動運転ができるため、ふろ自動運転を一旦解除した後でも、再度ふろ自動運転をすることで、保温運転や自動たし湯機能を再開することができます。

●「急速」
「標準」よりも短時間で湯はりします。早く入浴したいときにおすすめです。

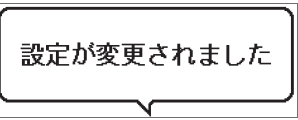
初期設定	標準
選択範囲	標準、急速

○動作について

湯はりモード	保温運転時間	保温運転中の自動たし湯
標準	1時間（初期設定）	入（初期設定）
急速		切（変更できません）

保温運転時間を変更するときは P.29
自動たし湯の設定を変更するときは P.29

4 設定が完了します。

設定が変更されました

ご注意

○湯はりモードを「急速」に設定した場合、必ず浴槽の水がすべて排水されていることを確認してからふろ自動を行ってください。浴槽からお湯があふれる場合があります。

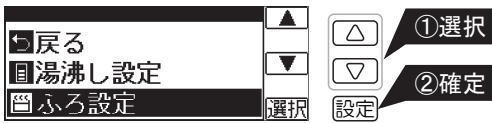
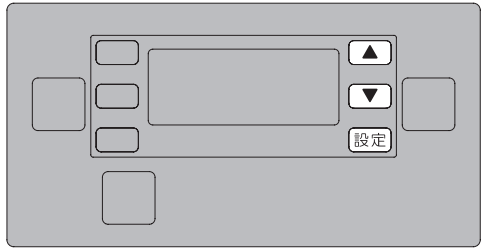
【お知らせ】

○湯はりモードを「急速」に設定した場合、湯はり時間は「標準」設定よりも短くなりますが、「自動たし湯」機能は使えません。
○ふろ自動初回運転のときは、湯はりモードを「急速」に設定していても、「標準」で運転します。P.50

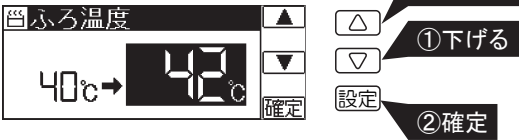
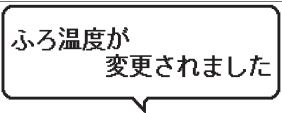
湯はりする（ふろ温度・水位の設定）

フロコントローラで操作します

■自動湯はりやたし湯の温度を設定します。
■ふろの水位を設定します。

1 設定 を押し、【ふろ設定】を選びます。

フロコントローラ

ふろ温度

2 【ふろ温度】を選びます。

3 温度を選びます。

初期設定	40℃
選択範囲	水温、35～48℃(1℃刻み)

4 設定が完了します。

ふろ水位

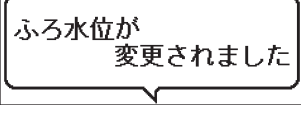
2 【ふろ水位】を選びます。

3 水位を選びます。

初期設定	5
選択範囲	1～10(1刻み)

ふろ水位（循環金具からの水位）は、
約5cm～32cmまで3cm刻みで設定できます。

水位	循環金具からの高さ(目安)
10	32cm
9	29cm
8	26cm
7	23cm
6	20cm
5	17cm
4	14cm
3	11cm
2	8cm
1	5cm

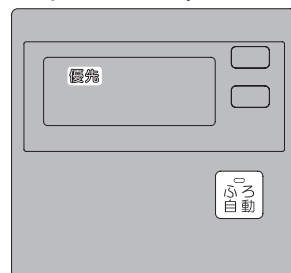
4 設定が完了します。

【お知らせ】
○コントローラのふろ温度やふろ水位は目安です。実際の浴槽内の湯温や水位は、気温、配管状況、循環金具の形状によって多少異なる場合があります。
○浴槽が浅い場合、水位を高く設定するとあふれることがありますので注意してください。

湯はりする（ふろ自動のしかた）

メインコントローラまたは
フロコントローラで操作します

■自動でふろの湯はりができます。
■自動湯はり完了後は、保温運転を行います。

【お知らせ】
〇ふろ自動は、「標準」と「急速」の2種類の運転方法があります。（初期設定は「標準」です。）
　ご使用状況に合わせてお選びください。内容および設定方法は P.19

メインコントローラ

浴槽の排水せんとふたを閉めます。

湯はりモードが「急速」の場合は、必ず浴槽の水をすべて排水してください。

2 を押します。

ふろ自動のランプが点灯し、湯はりを開始します。

点灯

フロコントローラ

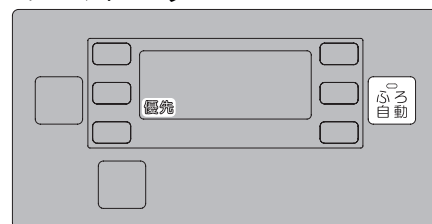
〇湯はりモードが「標準」の場合

ふろ自動運転（標準）を
開始します

〇湯はりモードが「急速」の場合

ふろ自動運転（急速）を
開始します

おふろに栓を
してください

※文字によるお知らせはフロコントローラのみで行います。

3 湯はりが完了します。

※おふろが沸き上がると、文字とブザーでお知らせします。
（文字によるお知らせはフロコントローラのみで行います。）

おふろが沸きました

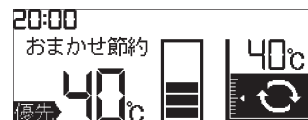
警告	■入浴中は、必ずフロコントローラを「優先」の状態にして シャワーを使用してください。メインコントローラで給湯温度を 変更されるとやけどの原因になります。 ■保温運転中は、浴槽の循環金具から十分に離れてください。 設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。

4 保温運転に入ります。

保温運転を1時間（初期設定）行います。
保温運転中の自動たし湯（P.29）は、湯はりモードが「標準」の場合のみ行います。

保温運転をやめるときは、ふろ自動を押してふろ自動を解除します。または、保温時間の設定で「なし」を選択します。

保温運転の時間を変える場合は P.29
湯はりモードが「標準」の場合で、自動たし湯が必要ないときは、自動たし湯の設定を「切」にしてください。P.29

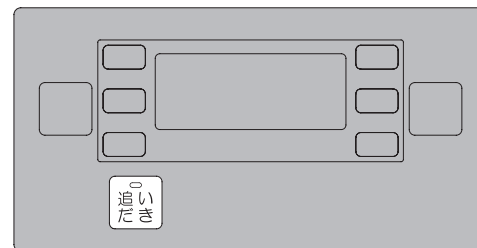
【お知らせ】
〇保温運転中は、定期的に循環し、浴槽の湯温確認や追いだきを行います。
　浴槽の湯温確認中や追いだき時は、右画面が表示されます。
〇循環開始直後は配管内の残水が出ます。残水が冷たい場合、浴槽の湯温が一旦低下する場合があります。
〇ふろ自動初回運転のときは、湯はりモードを「急速」に設定していても、「標準」で運転します。P.50

【故障ではありません】
〇ふろ自動運転中、給湯機内部のポンプが作動して音が出ることがあります。
〇浴槽に残水があるときにふろ自動運転をすると、ふろ水位が設定水位より高くなることがあります。
〇ふろ自動運転中に「保温できません」の表示が出る場合があります。
　タンク内にお湯がないか、タンク内の湯温が低い状態です。
　【故障ではありません】（P.23）をご参照のうえ、操作してください。
〇外気温が低いときには、ふろ凍結予防運転を行います。そのときに
　循環金具より水が出ることがあります。 P.52

ご使用方法（給湯・おふろ）

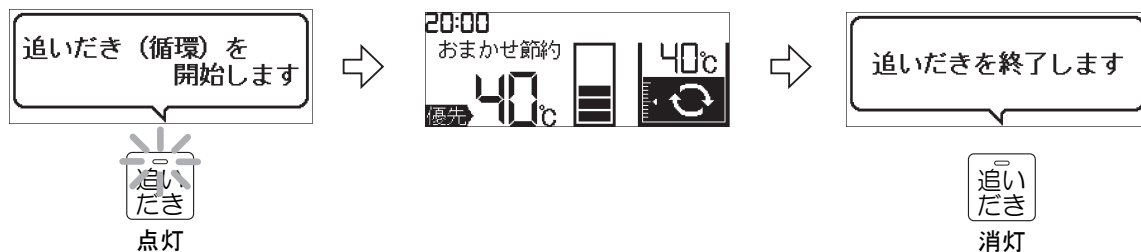
追いだきする

■浴槽のお湯がぬるいとき、お湯の温度を上げることができます。
■追いだき方法には、「循環」、「高温たし湯20L」、「自動」の3種類があります。

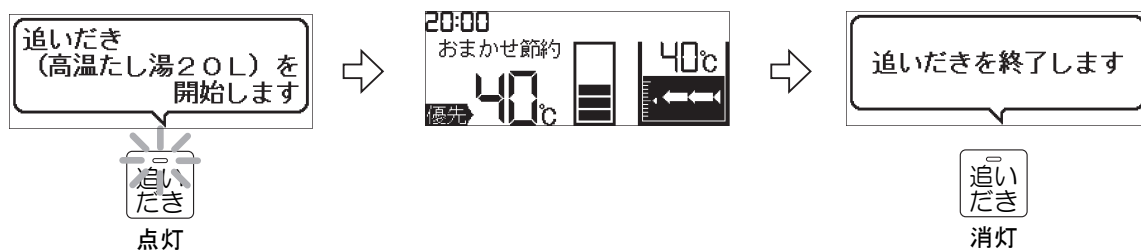
⚠警告	追いだきをするときは、浴槽の循環金具から十分に離れてください。設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。

フロコントローラ

を押します。

○追いだき方法が「循環」（初期設定）の場合

追いだきのランプが点灯し、浴槽の湯温が約1.5℃上がると停止します。
浴槽の湯温がふろ設定温度より低い場合は、設定温度まで追いだきします。

途中で止めるときは、もう一度 追い だき を押します。

○追いだき方法が「高温たし湯20L」の場合

追いだきのランプが点灯し、浴槽に高温のお湯（60℃未満）を約20Lたし湯します。

途中で止めるときは、もう一度 追い だき を押します。

○追いだき方法が「自動」の場合

タンク内のお湯の温度により追いだき方法を自動で切り替えます。

・タンク内の湯温が高い場合は、「循環」となります。
・タンク内の湯温が低い場合は、「高温たし湯20L」となります。

途中で止めるときは、もう一度 追い だき を押します。

※追いだき方法は、追いだきの設定（P.28）より変更可能です。

【お知らせ】

〇追いだき（高温たし湯20L）の場合、ふろの水位が上昇します。また、浴槽の湯温はふろ設定温度まで上がらない場合があります。

〇追いだき動作は浴槽内のお湯を設定温度まで沸かす機能です、「追いだき」の他に「ふろ自動」、「たし湯」を行ったときも追いだき動作を行います。

〇追いだき動作はタンクのお湯の熱を利用しています。追いだきをするとその分タンク内の湯温が低下します。
特に前日の残り湯を沸し直すと、タンク内の湯温が大きく下がり、追いだきやふろ自動が途中で停止することがあります。

〇すばやく浴槽の温度を上げたいときは、高温たし湯が効率的です。（高温たし湯については P.24）

〇タンクのお湯が不足していると追いだき動作はできません。そのときは沸増しを行うか湯沸しモードを「おまかせ」に変えてください。（沸増しのしかたは P.30、湯沸しモードを変更するときは P.34）

〇浴槽にお湯がないと追いだきはできません。

〇追いだきの開始直後は、配管内の残水が出ますので設定温度と異なります。
また、配管内の残水が冷たい場合、浴槽の湯温が一旦低下する場合があります。

【故障ではありません】

■追いだき時間がいつもより長い場合…

●タンク内の湯温が低いと、追いだき時間が長くなります。（追いだきのしくみについては P.57）

■追いだきスイッチを押したときや追いだきが途中で止まって、「追いだきできません」の表示が出ていたら…

●タンク内の残湯がないか、湯温が低い状態です。タンク内の湯温が低い場合、残湯量の目盛が ▒▒▒ になります。

●浴槽に残水がある状態でふろ自動や、追いだき・たし湯を頻繁に行いますとタンク内の湯温が大きく下がり、「追いだきできません」の表示が出て、運転を停止する場合があります。

●追いだき運転が停止した場合に浴槽のお湯の温度を上げたいときは、追いだきスイッチを押して、追いだき運転を解除した後、給湯によって浴槽にお湯を入れるか、高温たし湯を行ってください。（高温たし湯については P.24 ）

■ふろ自動運転中（保温運転中）、「保温できません」の表示が出ていたら…

●タンク内の残湯がないか、湯温が低い状態です。タンク内の湯温が低い場合、残湯量の目盛が ▒▒▒ になります。

●浴槽に残水がある状態でふろ自動や、追いだき・たし湯を頻繁に行いますとタンク内の湯温が大きく下がり、「保温できません」の表示が出て、運転を停止する場合があります。

●運転が停止した場合に浴槽のお湯の温度を上げたいときは、給湯によって浴槽にお湯を入れるか、高温たし湯を行ってください。（高温たし湯については P.24 ）

●ふろ自動運転中（保温運転中）にたびたび「保温できません」の表示が出る場合は、ふろ自動沸増しを設定してください。（ふろ自動沸増しについては P.37 ）
設定以後、ふろ自動運転時にタンク内の湯温が低くなると自動で沸増しを行い、タンク内の湯温を高くします。
ふろ自動沸増し中は「保温準備中」を表示し、保温運転を待機する場合があります。

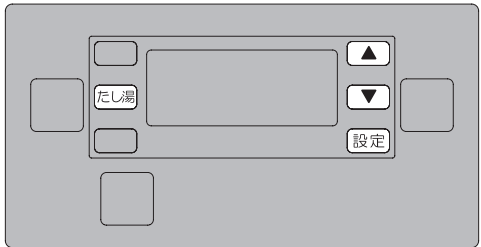
●ふろ自動沸増しによりタンク内の湯温が高くなると保温運転を再開します。ふろ自動を解除すると、ふろ自動沸増しを停止します。

おふろにお湯や水をたす

高温たし湯・たし湯

■浴槽のお湯を熱くしたり、浴槽にお湯をたしたりしたいとき、使用します。
■自動的にお湯をたすことができます。

たし湯 を押し、たし湯選択で項目を選びます。

フロコントローラ

	たし湯温度	こんなときに
高温たし湯	60℃	すばやく浴槽の温度をあげたいとき
たし湯	ふろ温度	浴槽の湯量が少ないとき （浴槽の湯量を増やしたいとき）

最初は高温たし湯が選択されています。たし湯を行うときは ▽ を押して、選択を変更してください。
確定するときはもう一度 たし湯 を押すか、設定 を押してください。
たし湯選択画面は、戻るを選択するか確定せずに約10秒経過すると解除され終了します。

高温たし湯

⚠警告	高温たし湯をするときは、浴槽の循環金具から十分に離れてください。 熱いお湯が出ますので、注意してください。

【高温たし湯】を選びます。

60℃のお湯が約20L浴槽の循環金具から出てきます。（自動停止）
約20Lの湯はりが終了するとポンプで浴槽のお湯を循環させて攪拌を行います。

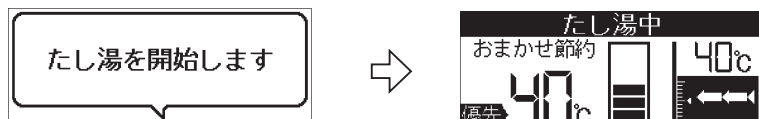
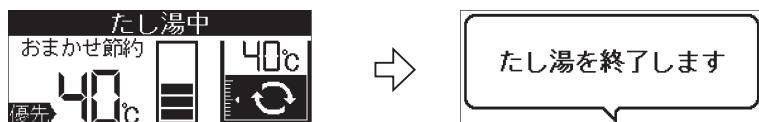
途中で止めるときは、もう一度 たし湯 を押します。

【お知らせ】
○タンク内のお湯の温度が60℃より低い場合は、タンク内の温度で高温たし湯を行います。
○高温たし湯の開始直後は配管内の残水が出ますので、設定温度（60℃）とは異なります。

たし湯

警告	たし湯をするときは、浴槽の循環金具から十分に離れてください。 熱いお湯が出ることがありますので、注意してください。

2 【たし湯】を選びます。

“ふろ温度”のお湯が約20L浴槽の循環金具から出てきます。（自動停止）
ふろ自動運転の保温中の場合は設定されたふろ温度よりも高い（低い）湯温でたし湯を行う場合があります。

浴槽の湯温が設定温度より低い場合、引き続き追いだきを行います。

途中で止めるときは、もう一度 たし湯 を押します。

【お知らせ】
○タンク内の湯温が低い場合「追いだきできません」を表示し、たし湯運転を停止する場合があります。➡ P.23
　運転が停止した場合に浴槽のお湯の温度を上げたいときは、たし湯スイッチを押して、たし湯運転を解除した後、
　給湯によって浴槽にお湯を入れるか、高温たし湯を行ってください。
○たし湯の開始直後は配管内の残水が出ますので、設定温度とは異なります。

ぬる湯

■浴槽のお湯が熱いときに使います。
■自動的にお水をたすことができます。

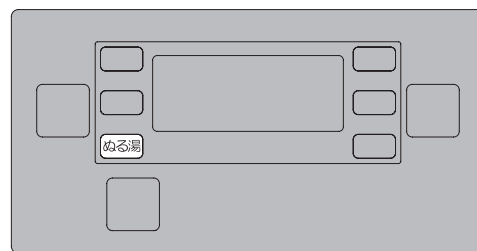
フロコントローラ

ぬる湯

ぬる湯 を押します。

約10Lの水が浴槽の循環金具から出てきます。（自動停止）
約10Lのぬる湯終了後、ポンプで浴槽の湯を循環させて
撹拌を行います。

途中で止めるときは、もう一度 ぬる湯 を押します。

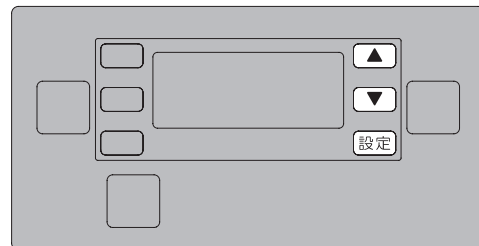
【お知らせ】
○ぬる湯の開始直後は配管内の残水が出ますので、設定温度（水温）とは異なります。

湯はり時刻を予約する

フロコントローラで操作します

■予約した時刻におふろへ入れるよう、自動的に湯はりをします。
■自動湯はり完了後は保温運転します。

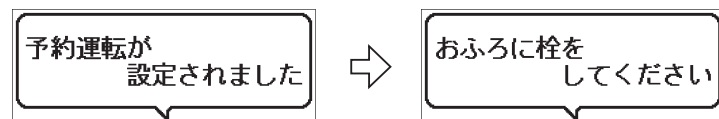
1 浴槽の排水せんとふたを閉めます。

湯はりモードが「急速」の場合は、
必ず浴槽の水をすべて排水してください。

2 設定 を押し、【ふろ設定】を選びます。

3 【ふろ予約運転】を選びます。

4 【入】を選びます。（解除するときは【切】を選びます。）

5 予約時刻を設定します。

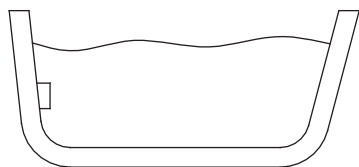
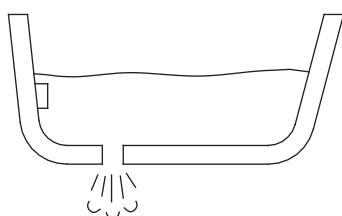
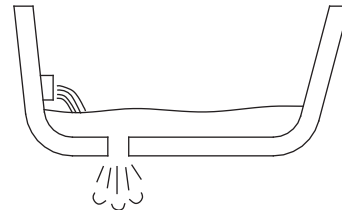
6 予約設定が完了します。

フロコントローラに予約時刻が表示されます。

【お知らせ】
〇予約設定は予約時刻の80分以上前に設定してください。設定した時刻に湯はりが完了しない場合があります。
〇湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、設定した時刻に湯はりが完了しない場合があります。
〇次のような場合は、予約運転が解除されます。
・予約運転中に現在時刻を変更した場合。
・予約時刻の80分前を過ぎてから、ふろ自動・追いだき・高温たし湯・たし湯・ぬる湯・クリーニングを行った場合。

自動配管洗浄を設定する

フロコントローラで操作します

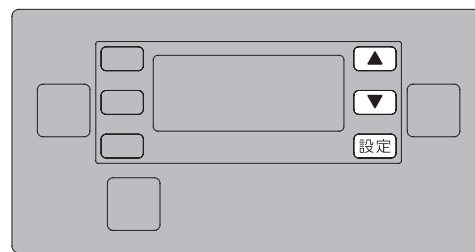
■ふろ自動運転終了後、浴槽の水を排水する時におふろの配管を水で洗い流します。毎回洗浄を行います。

自動配管洗浄のながれ

1 設定 を押し、【ふろ設定】を選びます。

2 【自動配管洗浄】を選びます。

3 【入】を選びます。

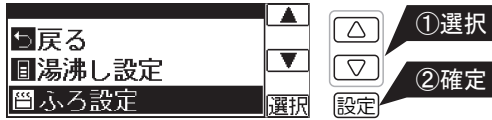
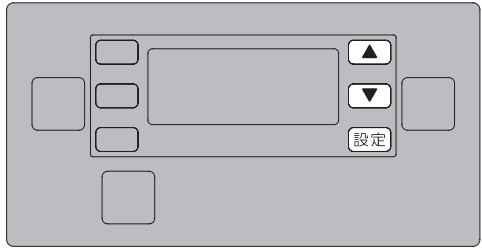
初期設定	切
選択範囲	入、切

4 設定が完了します。

【お知らせ】
○保温運転終了後に、クリーニングを行った場合は、自動配管洗浄を行いません。

ふろ自動運転の詳細を設定する

フロコントローラで操作します

■ふろ自動運転の追いだき・保温時間・自動たし湯の設定ができます。

設定 を押し、【ふろ設定】を選びます。

フロコントローラ

追いだきの設定

■追いだきの方法を、「循環」、「高温たし湯20L」、「自動」から選択できます。
追いだきについては P.22

2 【追いだき設定】を選びます。

3 内容を選びます。

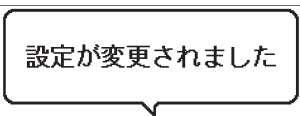
●「循環」
浴槽のお湯を循環させて追いだきすることで、浴槽内のお湯の温度を高くする方法です。

●「高温たし湯20L」
高温のお湯（60℃未満）を約20L浴槽にたし湯することで、浴槽内のお湯の温度を高くする方法です。

●「自動」
タンク内のお湯の温度が高い場合「循環」、低い場合「高温たし湯20L」と判断し、
浴槽内のお湯の温度を高くする方法です。

初期設定	循環
選択範囲	循環、高温たし湯20L、自動

4 設定が完了します。

設定が変更されました

【お知らせ】
○湯沸しモードを変更した場合、追いだき設定は初期設定に戻ります。

保温時間の設定

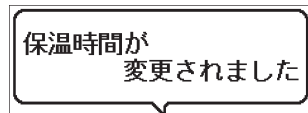
■ふろ自動運転中の保温運転時間を設定できます。
（ふろ自動運転のながれ P.18）
■自動湯はり完了後、設定した時間の間、保温運転を行います。保温運転中は、浴槽の湯温が下がったとき、追いだきを行い浴槽の湯温を保ちます。

2 【保温時間】を選びます。

3 時間を選びます。

※保温時間を2時間以上に設定するときは、ふろ自動沸増しの設定を「許可」にすることをおすすめします。
ふろ自動沸増しの設定は P.37

初期設定	1時間
選択範囲	なし、1～4時間（1時間刻み）

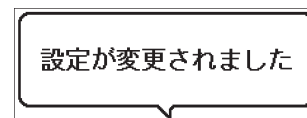
4 設定が完了します。

自動たし湯の設定

■保温運転中の自動たし湯の「入」、「切」を設定できます。
（ふろ自動運転のながれ P.18）
■ 設定が「入」の場合、保温運転中に浴槽の水位が下がったとき、たし湯を行い浴槽の水位を保ちます。

2 【自動たし湯】を選びます。

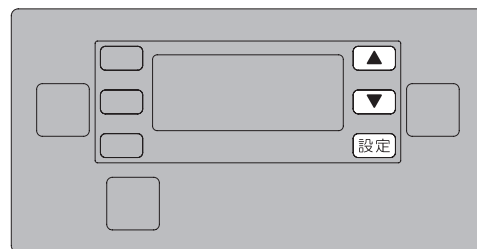
3 内容を選びます。

初期設定	入
選択範囲	入、切

4 設定が完了します。

【お知らせ】
○保温時間を「なし」にすると、自動湯はり完了後、ふろ自動運転を終了します。
○湯はりモードが「急速」の場合、自動たし湯は「切」となり、自動たし湯の設定項目は表示されません。
○次の人が入浴するまでの時間が長いときは、一旦ふろ自動を解除して、入浴する前にふろ自動を入れ直すことをおすすめします。
※湯はりモード（P.19）を「急速」に設定している場合は、残水がある状態でふろ自動を行うとお湯があふれるおそれがあります。湯はりモードを「標準」に設定し直してからふろ自動を行うか、「追いだき」（P.22）、「高温たし湯」（P.24）、「たし湯」（P.25）を行ってください。
○自動たし湯を「切」にすると、浴槽の自動保温のみ行い、浴槽の水位が低下しても自動でたし湯を行いません。

沸増しする

■昼間に沸増しを行い、お湯がたりなくなるのを防ぎます。
■夜間の湯沸しで湯量が不足する場合や、来客などでいつもより使用湯量が増える場合に設定します。
■一度設定すると設定したその日に沸増しを行い、夜間の湯沸しが始まると自動的に解除されます。

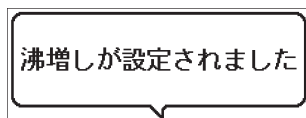
1 設定 を押し、【湯沸し設定】を選びます。

フロコントローラ

2 【沸増し】を選びます。

3 沸増し時間を選びます。

初期設定	解除
選択範囲	解除、1時間、2時間、最大

4 設定が完了します。

沸増しが設定されました

【お知らせ】

○沸増し中は、メインコントローラの ♨ 表示が点灯します。（バックライト消灯時は消灯します。）
フロコントローラの画面には、沸増中 が表示されます。
○沸増しは昼間電力でタンクのお湯を沸かすため、電気料金は割高になります。
○途中で停止する時は ③ で「解除」を選択してください。
○「最大」設定はタンクのお湯が満タンになるように、夜間の湯沸し開始まで沸かします。
○残湯量が十分あるときは、沸増し設定後すぐには沸増し動作にいきません。

ご使用方法（湯沸し）

本日の昼間湯沸しを休止する

フロコントローラで操作します

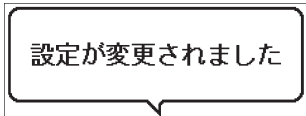
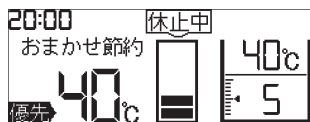
■本日にもうお湯を使わず、湯沸しの必要がない場合に設定します。
■夜間の湯沸しが始まると自動的に解除されます。

1

2 【本日湯沸し休止】を選びます。

3 【入】を選びます。

初期設定	切
選択範囲	入、切

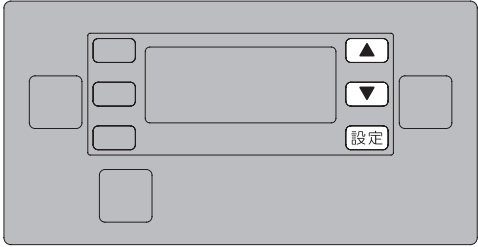
4 設定が完了します。

フロコントローラに 休止中 が表示されます。

【お知らせ】
○途中で本日湯沸し休止をやめる時は ③ で「切」を設定してください。
○本日湯沸し休止が設定されていても、沸増しすることができます。➡ P.30
○本日湯沸し休止が設定されていても凍結予防のために湯沸しを行うことがあります。
凍結予防運転については ➡ P.52

湯沸し停止日数を設定する

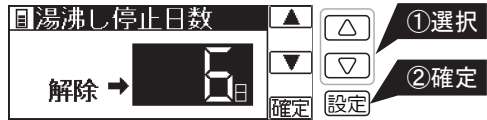
■湯沸し停止日数を設定することで、湯沸しを停止することができます。
■旅行などでお湯が必要でない日の電気代を節約することができます。

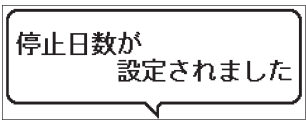
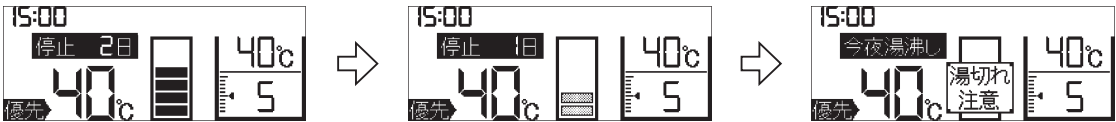
●湯沸し停止日数の決めかた（数日間旅行する例）
出発日に下記のように設定すれば、帰宅日にお湯が沸いています。

・1 泊 2 日の旅行の場合 ⇨ 設定しません。
・2 泊 3 日の旅行の場合 ⇨ 出発日に「1 日」を設定。
・3 泊 4 日の旅行の場合 ⇨ 出発日に「2 日」を設定。

フロコントローラ

1 設定 を押し、【湯沸し設定】を選びます。

2 【湯沸し停止日数】を選びます。

3 日数を選びます。

初期設定	解除
選択範囲	解除、1～15日

4 設定が完了します。

フロコントローラに設定した日数が表示されます。
日数は夜間時間帯終了時（7:00など）に1日少なくなります。

【お知らせ】
○湯沸し停止日数が設定されている時に湯沸しを再開する時は ③ で「解除」を選択してください。
○夜間時間帯終了時を基準に日数が計算されます。24時以降の夜間時間帯（➡ P.15）に湯沸し停止日数を設定するときは、日数を1日増やしてください。
○湯沸し停止日数が設定されていても、沸増しすることができます。➡ P.30
○湯沸し停止日数が設定されていても、凍結予防のために湯沸しを行うことがあります。
凍結予防については ➡ P.52

ご注意
○凍結のおそれがあるときは、 湯沸し停止日数を設定しないでください。

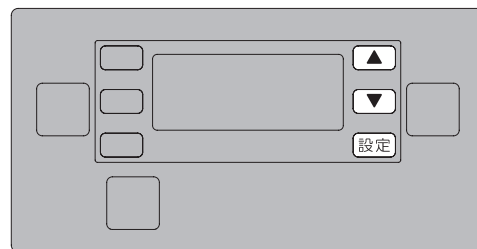
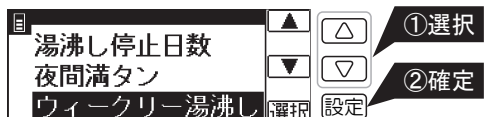
1週間の湯沸しパターンを設定する

フロコントローラで操作します

■1週間の中で、夜間湯沸しを行う曜日の指定ができます。
■1週間の生活パターンが決まっているかたにおすすめです。

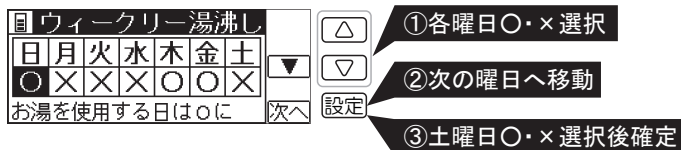
1 設定 を押し、【湯沸し設定】を選びます。

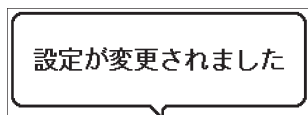
フロコントローラ

設定

2 【ウィークリー湯沸し】を選びます。

3 【入】を選びます。

4 お湯を使用する曜日を設定します。

日曜日から土曜日まで順番に、お湯を使用する日は「○」、お湯を使用しない日は「×」を設定します。

●設定例
日曜日、木曜日、金曜日の昼間にお湯を使用する場合 （日曜日、木曜日、金曜日の朝にお湯が沸いています）

初期設定	切(各曜日「○」)
選択範囲	切、入(各曜日「○」または「×」)

5 設定が完了します。

フロコントローラに または が表示されます。表示は夜間時間帯開始時（23:00など）に切り替わります。

●湯沸しを実施する日（朝沸き上がる日）

●湯沸しを実施しない日（朝沸き上がらない日）

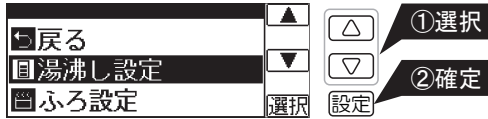
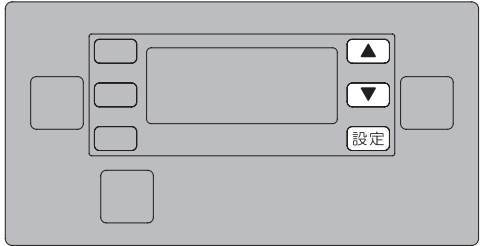
【お知らせ】
○設定を「切」にするまで継続されます。停止するときは 3 で「切」を選択してください。
○設定を「切」にしても、再度「入」にしてウィークリー湯沸しを設定するときは、 前回の設定内容が表示されます。
○コントローラの現在時刻（年・月・日）が正しく設定されていないと、設定通りに湯沸しを行いません。
○ウィークリー湯沸しの湯沸しを実施しない日でも、沸増しすることができます。 P.30
○ウィークリー湯沸しが設定されていても、凍結予防のために湯沸しを行うことがあります。
凍結予防については P.52
○「湯沸し停止日数」設定中は 2 で「ウィークリー湯沸し」の項目が表示されません。
ウィークリー湯沸しを設定する場合は、「湯沸し停止日数」を解除してください。 P.32

ご注意
○凍結のおそれがあるときは、 ウィークリー湯沸しを設定しないでください。

湯沸しモードを設定する

■タンクの湯沸しモードを設定します。
■湯沸しモードはご家庭のお湯の使用量に応じて設定してください。

1 設定 を押し、【湯沸し設定】を選びます。

戻る
湯沸し設定
ふろ設定
選択
①選択
②確定

フロコントローラ

2 【湯沸しモード】を選びます。

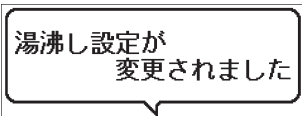
3 湯沸しモードを選びます。

湯沸しモード	特徴	湯沸し詳細設定の初期設定	
		湯切れ沸増し量	夜間不足分沸増し
おまかせ節約（初期設定）	過去の使用量を学習し、最小限の湯温と湯量で湯沸しします。	70L	禁止
おまかせ	過去の使用量を学習し、「おまかせ節約」よりも多く湯沸しします。	150L	許可

湯沸し温度は約65～90℃です。過去の使用量や外気温度により異なります。

湯沸しの詳細設定は ➡ P.36

4 設定が完了します。

湯沸し設定が
変更されました

【お知らせ】
○使い始めの2日間は使用量に関係なく、夜間全量湯沸しします。
○使い始めの学習期間は、夜間時間帯以外にも湯沸しをすることがあります（学習追加沸増し）。その場合、メインコントローラの ♨ 表示が点灯します。（バックライト消灯時は消灯します。）
フロコントローラの画面には 沸増 が表示されます。
○「おまかせ節約」設定の場合、午後以降に追加沸増しを行います（お湯をあまり使わないと行いません）。その場合、メインコントローラの ♨ 表示が点灯します。（バックライト消灯時は消灯します。）
フロコントローラの画面には、沸増 が表示されます。
○ヒートポンプ凍結予防運転は、湯沸しモードに関係なく行うため、夜間時間帯以外にも湯沸しをすることがあります。
○湯沸しモードを変更すると湯切れ沸増し量、夜間不足分沸増し、夜間満タン設定、ふろ追いだきの設定は、初期設定に変更されます。

ご注意
○現在時刻の設定がされていないと、湯沸しできません。
○夜間時間帯にお湯を使用した場合、沸き上がらないことがあります。
○来客などでお湯をたくさん使用すると、湯切れすることがあります。
あらかじめ前日以前に「夜間満タン」を設定し、当日に「沸増し」を行ってください。
夜間満タンの設定方法は ➡ P.35　沸増しのしかたは ➡ P.30
○夜間時間帯に湯沸しモードを「おまかせ節約」から「おまかせ」に変更した場合、湯量が設定より少なくなることがあります。

夜間満タンを設定する

フロコントローラで操作します

■本日の夜間湯沸しから、お湯を満タン（タンク全量）に湯沸しします。
■設定を「切」にするまで継続されます。

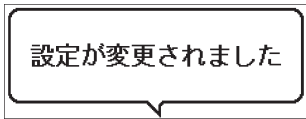
フロコントローラ

設定 を押し、【湯沸し設定】を選びます。

2 【夜間満タン】を選びます。

3 【入】を選びます。

初期設定	切
選択範囲	入、切

4 設定が完了します。

フロコントローラに 夜間満タン が表示されます。

【お知らせ】
○途中で停止する時は ③ で「切」を選択してください。
○お客様の使用量によっては、夜間湯沸し湯量を最大湯量で沸かしている場合があるため、夜間満タン設定をした場合でも使用湯量が増えない場合があります。
○湯沸し停止日数が設定されている場合は設定できません。
○夜間時間帯に夜間満タンを設定した場合、お湯を満タンに沸かさない場合があります。
○次のような場合は、夜間満タン設定が解除されます。
・電力制度、湯沸しモードを変更した場合。
・湯沸し停止日数を設定した場合。

湯沸しの詳細を設定する

■湯沸し運転の詳細を設定します。
■ご家庭のお湯の使用量や季節に応じて設定してください。

設定 を押し、【湯沸し設定】を選びます。

湯切れ沸増し量

■湯切れ予防のため、自動で沸増しを始める残湯量を設定します。
■湯切れが心配なときは、湯切れ沸増し量を多く設定してください。

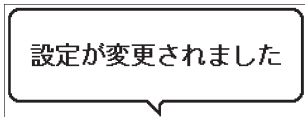
2 【湯切れ沸増し量】を選びます。

3 内容を選びます。

	おまかせ節約	おまかせ
初期設定	70L	150L
設定範囲	なし、70L、100L ～ 400L（50L 刻み）	

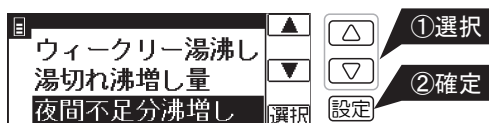
※43℃に換算した湯量です。

4 設定が完了します。

設定が変更されました

【お知らせ】
○お湯の使用中に残湯量が設定量を下回ると、設定量を確保するように湯沸しを開始します。
　なお、湯沸しは、最低20分間行います。
○昼間時間帯、リビングタイムも自動的に沸増しします。
○湯切れ沸増し量を多く設定すると、昼間電力の使用量が増え、電気料金が高くなる場合があります。
○設定変更後に湯沸しモードを変更した場合、湯切れ沸増し量は初期設定に戻ります。
○湯切れ沸増し中は、メインコントローラの ♨ 表示が点灯します。（バックライト消灯時は消灯します。）
　フロコントローラの画面には、 沸増 が表示されます。

夜間不足分沸増し

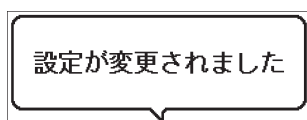
■学習した夜間の湯沸し目標湯量に対して、夜間に湯沸しした湯量が目標湯量に満たなかった場合、不足している量を昼間に沸増しします。

2 【夜間不足分沸増し】を選びます。

	おまかせ節約	おまかせ
初期設定	禁止	許可
設定範囲	禁止、許可	

3 内容を選びます。

4 設定が完了します。

設定が変更されました

【お知らせ】
○夜間湯沸し中にお湯を使用すると、朝の湯沸し終了時、湯量が不足する場合があります。
「許可」の場合、最大5時間の湯沸しを行い、不足湯量を補います。
○昼間時間帯、リビングタイムも自動的に沸増しします。
○「許可」の場合、昼間電力の使用量が増え、電気料金が高くなる場合があります。
○設定変更後に湯沸しモードを変更した場合、夜間不足分沸増し設定は初期設定に戻ります。
○夜間不足分沸増し中は、メインコントローラの ♨ 表示が点灯します。（バックライト消灯時は消灯します。）
フロコントローラの画面には、沸増 が表示されます。

ふろ自動沸増し

■ふろ自動運転中にタンク湯温が冷めて、自動保温ができなくなると自動で沸増しします。

2 【ふろ自動沸増し】を選びます。

3 内容を選びます。

	おまかせ節約	おまかせ
初期設定	禁止	
設定範囲	禁止、許可	

4 設定が完了します。

【お知らせ】
○昼間時間帯、リビングタイムも自動的に沸増しします。
○「許可」の場合、昼間電力の使用量が増え、電気料金が高くなる場合があります。
○ふろ自動沸増し中は、メインコントローラの ♨ 表示が点灯します。（バックライト消灯時は消灯します。）
フロコントローラの画面には、沸増 が表示されます。

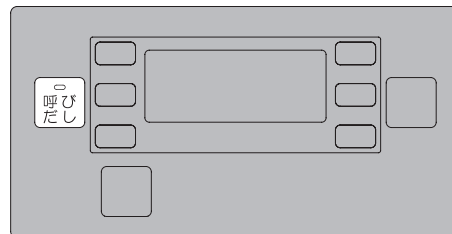
呼びだしをする

■浴室から人を呼びだすときに使用します。

呼び だし を押します。

フロコントローラ

ランプが点滅し、メインコントローラとフロコントローラのブザーが鳴ります。（約 10 秒間）

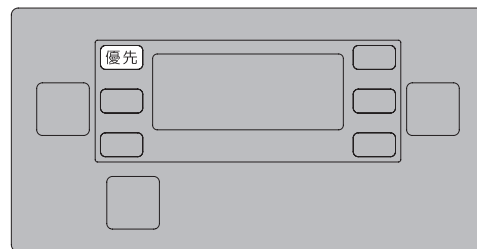
※画面はフロコントローラのみ表示します。

解除するときは、もう一度 を押します。

チャイルドロックを設定する

■スイッチ操作を受け付けないようにすることができます。
■お子様のいたずらや、誤操作を防ぎたいときに使用します。

優先 を約 3 秒間押し続けます。

フロコントローラ

ブザーが鳴り、チャイルドロックが設定されます。
チャイルドロックが設定されているときは、
メインコントローラ・フロコントローラに 🔑 が点滅します。

メインコントローラの場合　　フロコントローラの場合

※文字ガイドによるお知らせは
　フロコントローラのみで行います。

チャイルドロック中に 以外のスイッチを押された場合は、フロコントローラで下記の表示を行います。

チャイルドロック中

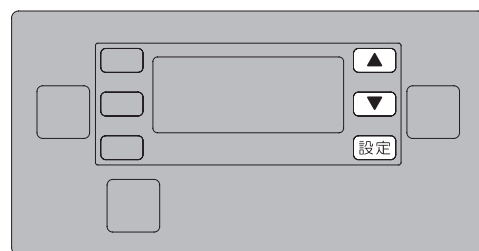
チャイルドロックを解除するときは、もう一度 優先 を約3秒間押し続けます。

【お知らせ】
チャイルドロックが設定されていても、ふろ自動・追いだき・高温たし湯・たし湯・ぬる湯の解除は受付けます。

使用湯量をチェックする

■今日・曜日別・月別の使用湯量を確認することができます。

【お知らせ】
〇タンク内のお湯の温度と量より算出しているため、目安の値となります。
〇お湯を使用していない場合でもタンクからの放熱により、値が変化することがあります。
〇1日の使用湯量は午前3時00分から翌日の午前2時59分までの量です。
〇年・月・日が正しく設定されていないと、曜日別使用湯量・月別使用湯量は正しく表示されません。
現在時刻の設定方法は ➡ P.16）

1 設定 を押し、【使用湯量チェック】を選びます。

今日の使用湯量

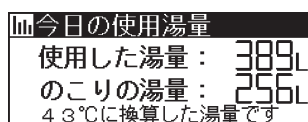
■今日の使用湯量を43℃に換算して表示します。

2 【今日の使用湯量】を選びます。

3 今日の使用湯量と残りの湯量が表示されます。

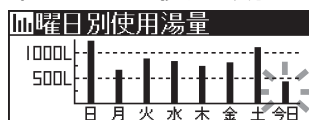
4 設定 を押すと終了します。

設定 を押さなくても1分後に終了します。

ご使用方法（コントローラ）

曜日別使用湯量

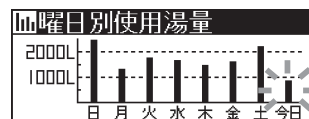
■7日前からの曜日別使用湯量を43℃に換算して棒グラフで表示します。

2 【曜日別使用湯量】を選びます。

3 曜日別の使用湯量が表示されます。

今日の棒グラフは点滅します。

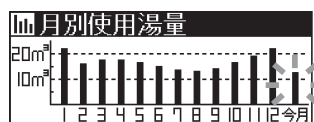
4 設定 を押すと終了します。

設定 を押さなくても1分後に終了します。

【お知らせ】
○使用湯量が1275L以上の曜日があると、グラフの目盛りが倍になります。

月別使用湯量

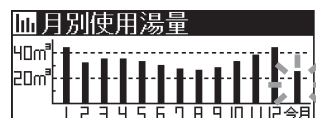
■1年前からの月別使用湯量を43℃に換算して棒グラフで表示します。

2 【月別使用湯量】を選びます。

3 月別の使用湯量が表示されます。

今月の棒グラフは点滅します。

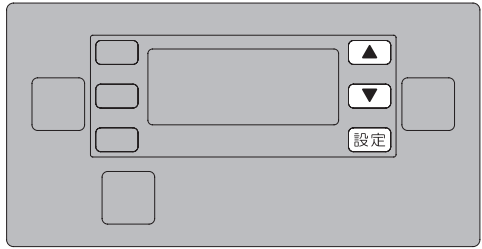
4 設定 を押すと終了します。

設定 を押さなくても1分後に終了します。

【お知らせ】
○使用湯量が26m³以上の曜日があると、グラフの目盛りが倍になります。

表示画面を設定する

■文字ガイド・バックライト・給湯バックライト・コントラストを設定します。

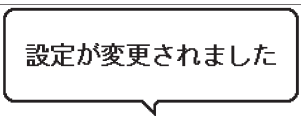
設定 を押し、【音／表示設定】を選びます。

フロコントローラ

文字ガイド

■フロコントローラでの文字表示によるガイド機能を設定します。

2 【文字ガイド】を選びます。

3 内容を選びます。

初期設定	入
選択範囲	入、切

4 設定が完了します。

※文字ガイドを「切」にした場合、ガイドは行いません。

バックライト・給湯バックライト

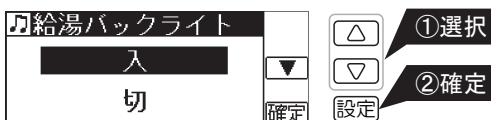
■フロコントローラ液晶画面のバックライト（メインコントローラの表示）の点灯を設定します。

2 【バックライト】を選びます。

3 内容を選びます。

初期設定	1分自動消灯
選択範囲	1分自動消灯、5分自動消灯、常時点灯

2 【給湯バックライト】を選びます。

3 内容を選びます。

初期設定	入
選択範囲	入、切

4 設定が完了します。

設定が変更されました

【お知らせ】
〇バックライト
・1分自動消灯・5分自動消灯：
バックライトが消灯しているときに △ ▽ 設定 を押すと、その動作は行わず、まずバックライトが点灯します。また、給湯機を使用すると自動点灯し、使用をやめると設定時間後に自動消灯します。
・常時点灯：常にバックライトが点灯します。
〇給湯バックライト
入：消灯時は、給湯により液晶画面のバックライトが自動点灯します。
切：消灯時に給湯を行っても、自動点灯しません。

コントラスト

■フロコントローラ液晶画面のコントラストを設定します。

2 【コントラスト】を選びます。

3 レベルを選びます。

初期設定	5
選択範囲	1〜10(1刻み)

4 設定が完了します。

設定が変更されました

【お知らせ】
コントラストのレベルを上げると表示が濃くなります。レベルを下げると表示が薄くなります。

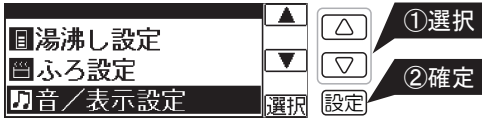
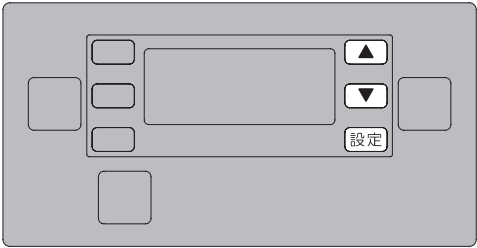
スイッチ操作音を設定する

フロコントローラで操作します

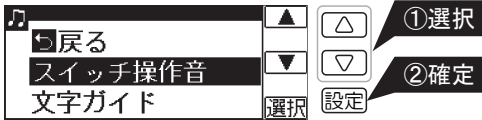
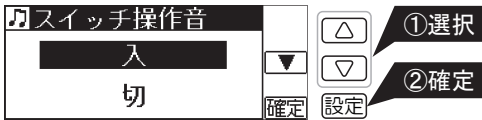
■スイッチ操作音の「入」「切」を設定します。
■両方のコントローラの設定が変更されます。

フロコントローラ

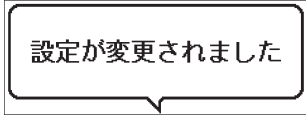
1

設定 を押し、【音／表示設定】を選びます。

2

【スイッチ操作音】を選びます。

3

内容を選びます。

初期設定	入
選択範囲	入、切

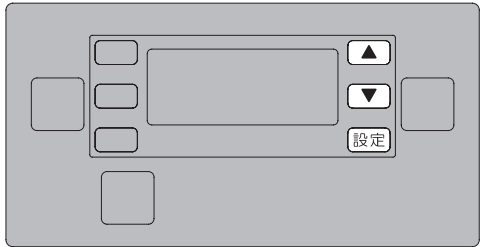
4

設定が完了します。

設定を元に戻す

フロコントローラで操作します

■設定を最初からやり直したいときに使用します。
■給湯温度や湯沸しモードなどの設定を初期設定値に戻します。
　ただし、電力制度・現在時刻・湯はり情報・湯沸し学習は初期設定値に戻りません。

初期設定値の一覧は ➡ P.11
電力制度の設定方法は ➡ P.14
現在時刻の設定方法は ➡ P.16
湯はり情報をクリアするときは ➡ P.50
湯沸し学習をクリアするときは ➡ P.51

フロコントローラ

1 設定 を押し、【その他設定】を選びます。

2 【設定クリア】を選びます。

3 【する】を選びます。

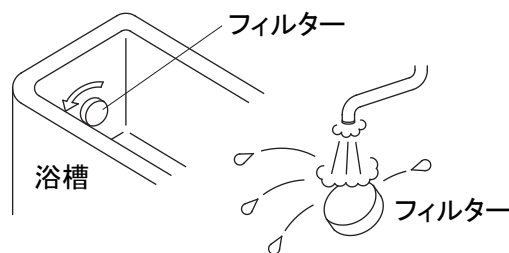
選択内容	する、しない

ご使用方法（コントローラ）

日常のお手入れ

■長く快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが必要です。
■安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋などの着用をおすすめします。

循環金具の清掃（日常）

1. フィルターを左に回してはずし、水洗いをします。
   （指などをけがしないように注意してください。）
2. 元通りに取り付けます。
   （取り付けがゆるいと故障の原因になります。）

配管の確認（日常）

配管の保温材破損や水漏れなどがないか確認します。
マンションなどの中・高層住宅で水漏れが起きた場合、階下に被害を及ぼすことがあります。

コントローラ表面の掃除（日常）

表面が汚れたときは、水に濡らしたやわらかな布をかたく絞り、
軽くふき取ってください。

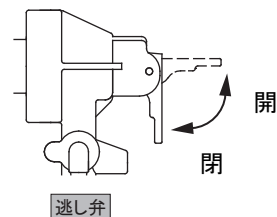
ご注意
○洗剤およびシンナー、ベンジンなどは
　使用しないでください。

現在時刻の確認（1か月に1回）

現在時刻がずれていると、電気料金が高くなることがあります。時刻がずれている場合は、合わせ直してください。
現在時刻の設定方法は ➡ P.16

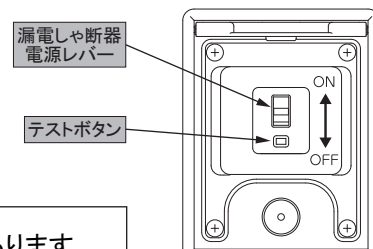
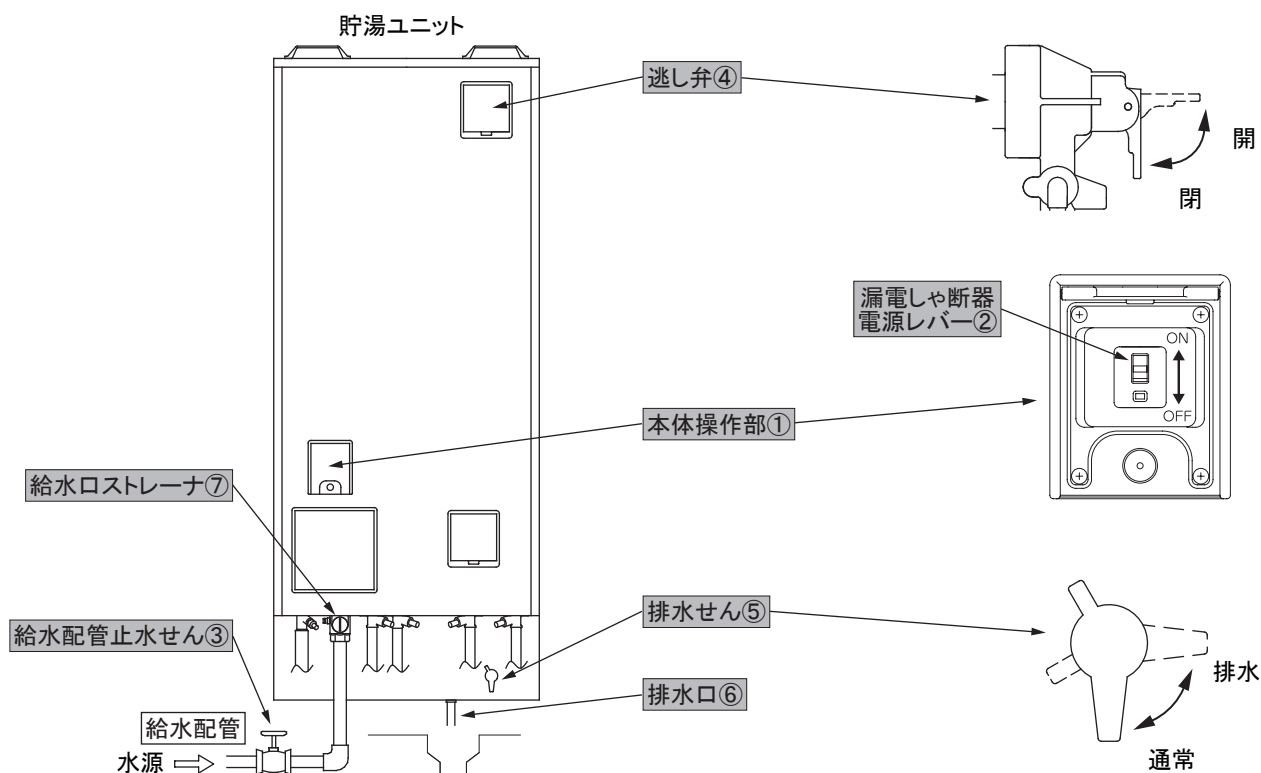
逃し弁の確認（1年に2～3回）

1. 湯沸しをしていないとき（フロコントローラに 湯沸中 や 沸増中 などの表示がないとき）に、排水口から水（お湯）が出ていないことを確認します。
2. 逃し弁操作部のカバーを開け、逃し弁のレバーを上げて、排水口から水（お湯）が出ることを確認します。
3. レバーを下げて排水が止まることを確認します。

⚠警告	排水口より熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

漏電しゃ断器の動作確認（1年に2～3回）

漏電しゃ断器の点検は電源供給中に行ってください。
1. 漏電しゃ断器のテストボタンを押します。
   電源レバーが自動的に「OFF（切）」になれば正常です。
2. 電源レバーを「ON（入）」に戻します。

⚠警告	■漏電しゃ断器が故障したまま使用すると、漏電時に感電するおそれがあります。 ■濡れた手で操作しないでください。感電するおそれがあります。

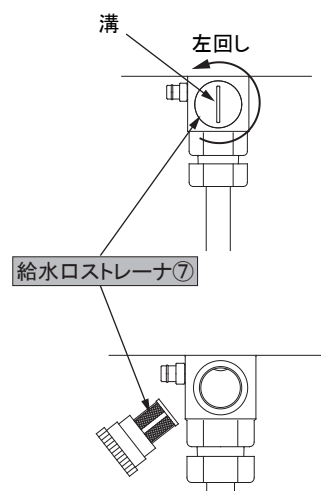
メンテナンス

タンク内の清掃（1年に2～3回）

1. **本体操作部①の漏電しゃ断器電源レバー②**を「OFF（切）」にします。
2. **給水配管止水せん③**を閉じます。
3. **逃し弁④**のレバーを上げます。（「開」にします。）
4. **排水せん⑤**を 2 分程度「排水」の向きにして、**排水口⑥**からタンク下部に溜まった汚れを流し出します。
5. 排水がきれいになったら**排水せん⑤**を「通常」の向きに戻します。
6. **給水配管止水せん③**を開き、**排水口⑥**より水が勢いよく出れば**逃し弁④**のレバーを戻します。（「閉」にします）
7. **本体操作部①の漏電しゃ断器の電源レバー②**を「ON（入）」にします。

⚠警告	■排水口より熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。 ■熱いお湯を流しますと排水管を損傷するおそれがあります。 残湯量表示が ▮ 以下（点灯している目盛りが5個以下）を確認してから、排水してください。

給水口ストレーナの清掃（1年に1回）

1. **本体操作部①**内の**漏電しゃ断器電源レバー②**を「OFF（切）」にします。
2. **給水配管止水せん③**を閉じます。
3. **逃し弁④**のレバーを上げます。（「開」にします。）
4. **排水口⑥**より水が連続して出ていないことを確認します。（水が連続して出続ける場合は、作業を中止してください。**給水配管止水せん③**が故障しているおそれがありますので販売店にご相談ください。）
5. **給水口ストレーナ⑦**の溝にコインなどを差し入れ、左に回して取りはずします。
6. **給水口ストレーナ⑦**の網を水で洗い流してください。
7. **給水口ストレーナ⑦**を取り付け、確実に締めつけてください。
8. **給水配管止水せん③**を開き、**排水口⑥**より水が勢いよく出れば**逃し弁④**のレバーを戻します。
9. **本体操作部①の漏電しゃ断器電源レバー②**を「ON（入）」にします。

メンテナンス

ふろ配管のクリーニングをする

フロコントローラで操作します

■ふろ循環配管の洗浄を行います。（1 年に 2 〜 3 回）

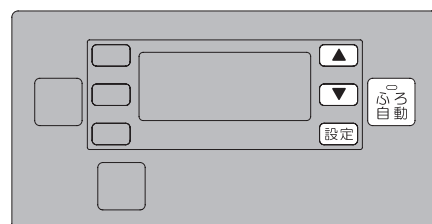
【お知らせ】
〇洗浄剤は、市販の「ジョンソン株式会社製ジャバ（1つ穴用）」をご使用ください。
〇クリーニングを行うとタンク内の温度が下がります。また節水のためクリーニングはできるだけ入浴後に行うことをおすすめします。
〇ふろ自動・追いだき・高温たし湯・たし湯・ぬる湯中は、クリーニングできません。

洗浄

1 浴槽に湯（水）があることを確認し、浴槽に洗浄剤を入れます。

水位の目安は循環金具の上から約 5cm です。

2 設定 を押し、【ふろ設定】を選びます。

フロコントローラ

3 【クリーニング】を選び、【洗浄】を選びます。

4 クリーニング（洗浄）を開始します。

約 20 分間、ふろ循環配管の洗浄を行います。

約20分間循環運転を行います。

5 クリーニング（洗浄）が終了したら、浴槽の湯（水）を排水します。

すすぎ

6 浴槽の排水せんを閉め、❷ ❸の操作で【すすぎ】を選びます。

【お知らせ】
〇ふろ自動の初回運転が完了していない場合（一度もふろ自動運転をしていない場合）、クリーニングの「すすぎ」を選択しても、「洗浄」運転を行います。

7 クリーニング（すすぎ）を開始します。

循環金具の少し上まで、水温で自動湯はりされます。その後、ふろ循環配管のすすぎを約 20 分間自動で行います。

水温で自動湯はりされた後、
約 20 分間循環運転を行います。

8 クリーニング（すすぎ）が終了したら、浴槽の湯（水）を排水します。

浴槽の湯（水）ににごりが無くなるまで 2 〜 3 回すすぎを繰り返してください。

メンテナンス

定期点検のおすすめ（有料）

給湯機を長年にわたり安心して快適にご使用いただくためには、 専門技術者による定期点検整備をおすすめします。
定期点検整備は、 給湯機本体・機能部品・消耗部品などの点検・交換・清掃を行います。
給水用具（逆流防止装置）に関しては公益社団法人日本水道協会発行の維持管理指針に基づいて点検してください。
時期は、 3～5年に1回程度をおすすめします。
逃し弁・減圧弁などは、設置条件・使用条件・特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品であり、定期的な点検が必要です。
長年にわたり（10年程度）使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。
補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。
長年使用されている場合、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

定期点検整備のお申し込みやお問い合わせは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

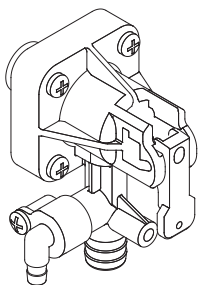
定期点検整備の主な内容

項　目	内　　容
据付状態の点検	配管接続部の水漏れ確認、電気絶縁チェック、配管保温材の確認、設置面の確認
機能部品の点検	逃し弁の水漏れ確認、循環ポンプの点検、減圧弁の確認、逆流防止装置の確認、 電気部品（配線・導通）動作確認
清掃・整備	タンク下部のスケール沈殿物の排出、ストレーナ（フィルター）の清掃、機能部品の清掃

消耗部品について

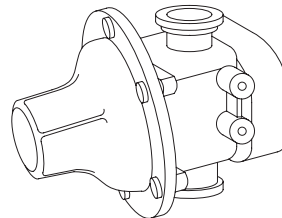
逃し弁、減圧弁などは消耗部品です。水質によっては、3年程度で劣化する場合もあります。
点検の結果、部品交換が必要な場合、交換に要する費用はお客様にご負担いただきます。

逃し弁

水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、
弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので
交換が必要です。

逃し弁

減圧弁

水質によっては、減圧弁のダイヤフラム（ゴム製）の
弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が
磨耗して圧力調整不良の原因になりますので交換が
必要です。

減圧弁

〇その他の消耗部品：パッキン類・ポンプ・その他弁関係

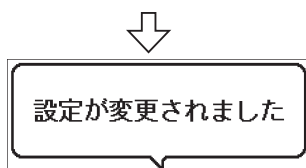
上記消耗部品の交換は当社の純正部品をご使用ください。

増・改築後のふろ自動運転

■この給湯機は、初めてのふろ自動運転（初回運転）時に浴槽の容量などを記憶します。
■増改築などで浴槽を変えた場合や、給湯機または浴槽を移設した場合は、下記手順に従い浴槽容量などの湯はり情報をクリアし、その後、ふろ自動運転を行ってください。

2 【湯はり情報クリア】を選びます。

3 【する】を選びます。

選択内容	する、しない

4 浴槽を空にして、 排水せんを閉めてください。

5 ふろの温度を「水温」、 水位を「5」に設定し、 ふろ自動運転を行ってください。

初回運転は通常のふろ自動運転より多少時間がかかります。
ブザーが鳴り、フロコントローラに「おふろが沸きました」の文字ガイド表示されれば初回運転は完了です。

【お知らせ】
○初回運転開始時には、右図のガイド画面が表示されます。
（「（標準）」・「（急速）」の文字は表示しません）
○初回運転は、通常のふろ自動運転よりも時間がかかります。

ご注意

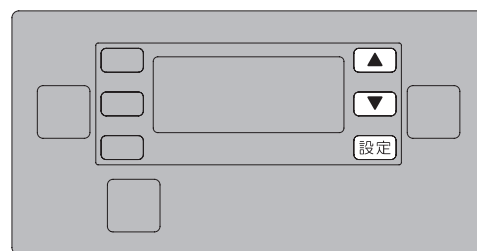
○初回運転時には以下のことに注意してください。浴槽の容量などを正確に記憶できません。
・浴槽に残り湯がある状態で行わないでください。
・初回運転中にじゃ口（湯水混合せん）から水をたさないでください。
・初回運転中に浴槽の水を使用しないでください。
○初回運転時は、ふろ水位が低く設定されていても、設定量より多く湯はりすることがあります。

湯沸し量を再学習するとき

フロコントローラで操作します

■この給湯機は、お湯の使用量を学習し、使用状況に合わせて湯沸しを行います。
■家族構成が変わるなどにより、お湯の使用量が急に増えて湯量が不足する場合は、学習した使用量をクリアし、
再学習を行ってください。

1 設定 を押し、【その他設定】を選びます。

フロコントローラ

2 【湯沸し学習クリア】を選びます。

3 【する】を選びます。

選択内容	する、しない

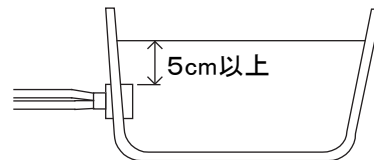
【お知らせ】
○湯沸し学習クリア後2日間は、使用量に関係なく夜間全量湯沸しします。
○湯沸し学習クリア後1週間は、夜間時間帯以外にも湯沸し（学習追加沸増し）をすることがあります。
その場合、メインコントローラの 表示が点灯します。（バックライト消灯時は消灯します。）
フロコントローラの画面には、 沸増 が表示されます。
○湯沸し学習クリアをすると、使用湯量チェック（ P.40）の、今日の使用湯量と曜日別使用湯量のデータが
リセットされます。

こんなときは

凍結のおそれがあるとき

■冬期など、凍結のおそれがあるときは、凍結予防対策を行ってください。
■給湯機は気温が低くなるとふろ配管とヒートポンプ配管の凍結予防運転を行います。

ふろ配管の凍結予防（ふろ凍結予防運転）

・気温が低くなると、浴槽に残った水を循環ポンプで循環させて、ふろ配管の凍結を予防します。
・浴槽の循環金具から約 5cm 以上、水を残してください。
・浴槽に水が残っていないと、ふろ配管の凍結を予防できません。
・ふろ凍結予防運転中は、フロコントローラに右の画面が表示されます。

※浴槽が空の状態でも、気温が低くなると循環ポンプが動き出します。
　循環できない場合、循環ポンプは約 2 分後に停止しますが、その間、ふろ配管の残水が浴槽へ流れ込みます。
※凍結のおそれがある場合は、凍結防止ヒーターでの凍結予防も行ってください。

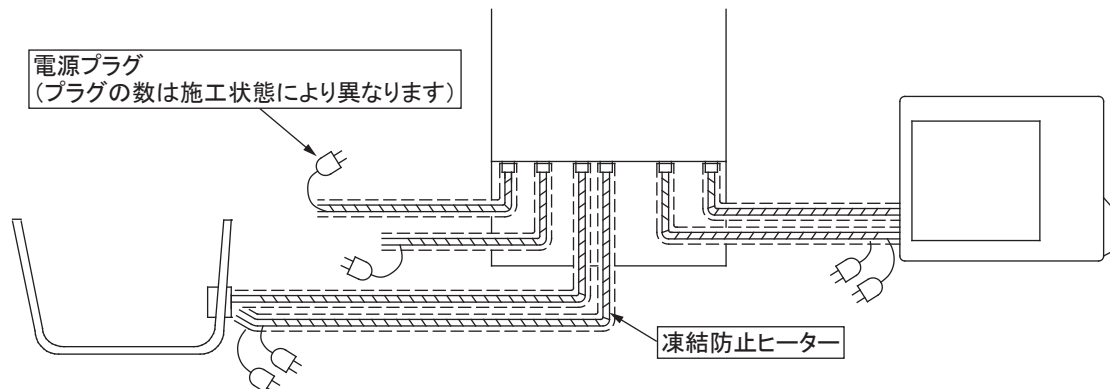
ヒートポンプ凍結予防運転について

・気温が低くなると、ヒートポンプ配管の凍結予防運転を行います。
・ヒートポンプ凍結予防運転には、湯沸し凍結予防運転（湯沸し動作）と循環凍結予防運転（循環動作のみ）があり、湯沸し凍結予防運転中はフロコントローラに右の画面のような ❄ が表示されます。

※凍結のおそれがある場合は、凍結防止ヒーターでの凍結予防も行ってください。

凍結防止ヒーターの使用

・給湯機は凍結予防運転を行いますが、冬期は寒冷地だけでなく、温暖な地域でも思わぬ寒波で凍結するおそれがあります。
・配管が凍結すると、給湯機や配管が破損することがあります。
・凍結防止ヒーターが施工されている場合、凍結防止ヒーターによって凍結を予防します。
　寒冷時になる前にすべての凍結防止ヒーターの差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。
・凍結しない季節はプラグをコンセントから抜いておいてください。
・凍結防止ヒーターが施工されているか不明なときは、お買い上げの据付工事店（販売店）へご確認ください。

ご注意

〇凍結のおそれがあるときは、湯沸し停止日数（P.32）やウィークリー湯沸し（P.33）の設定を「解除」や「切」にしてください。
〇配管に水が無い状態では、凍結防止ヒーターに通電しないでください。

こんなときは

停電・断水・水道工事のとき

停電のとき

・停電中に給湯することはできますが、給湯温度を調節することができないため、設定した温度にならずに高温のお湯や水が出る場合があります。

⚠警告	やけどの原因になりますので使用する際は、必ず湯温を確かめてから使用してください。

・停電復帰後、フロコントローラの現在時刻を確認してください。

ご注意

○現在時刻が設定されていないと、湯沸しできません。
○現在時刻が正しく設定されていないと電気料金が割高になることがあります。
現在時刻の設定方法は ➡ P.16

断水・水道工事のとき

・断水や水道工事のときは、給水配管止水せんを閉じてください。
・断水や水道工事終了後、じゃ口（湯水混合せん）の水側を開けて、濁った水が出なくなったのを確認してから給水配管止水せんを開けてください。

ご注意

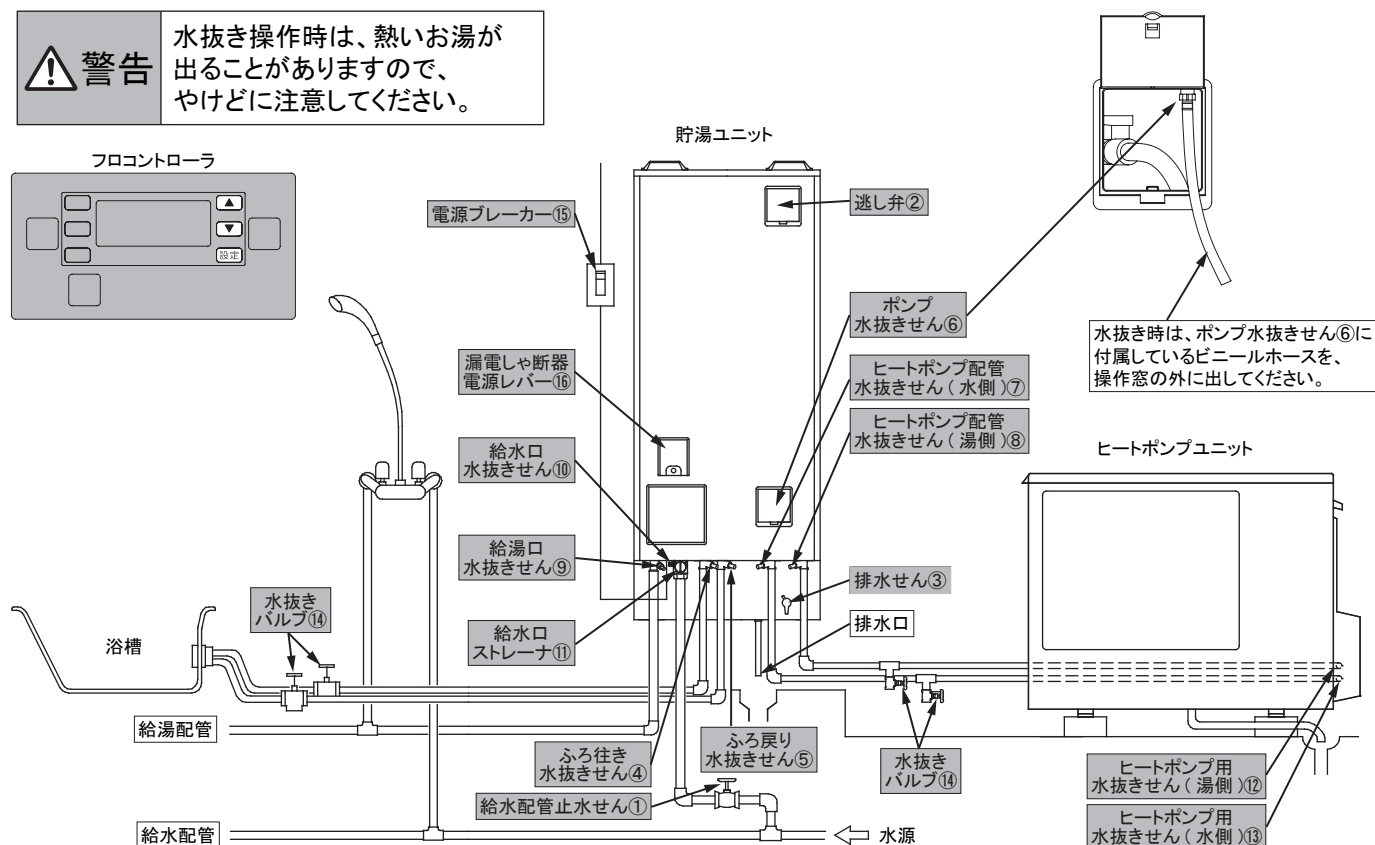
○断水時や給水配管止水せんを閉じるとタンク内に圧力がかからず、エラーが表示されることがあります。
エラー内容の確認および処置方法は ➡ P.59
○濁った水が貯湯ユニット内に入ると、給水ロストレーナを詰まらせてお湯の出が悪くなったり、タンク内のお湯を濁らせてしまう場合があります。また、故障の原因になります。

使用しないとき／水抜きするとき

フロコントローラで操作します

■長期間（1か月以上）使用しないときや、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「OFF（切）」にするときは、凍結によるタンクや配管の破損・水漏れの防止と、タンク内を清潔に保つために水抜きをしてください。

⚠警告	水抜き操作時は、熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

フロコントローラ
貯湯ユニット
逃し弁②
電源ブレーカー⑮
ポンプ水抜きせん⑥
水抜き時は、ポンプ水抜きせん⑥に付属しているビニールホースを、操作窓の外に出してください。
漏電しゃ断器電源レバー⑯
ヒートポンプ配管水抜きせん（水側）⑦
ヒートポンプ配管水抜きせん（湯側）⑧
ヒートポンプユニット
給水口水抜きせん⑩
給湯口水抜きせん⑨
排水せん③
排水口
水抜きバルブ⑭
浴槽
給水口ストレーナ⑪
給湯配管
ふろ戻り水抜きせん⑤
ふろ往き水抜きせん④
水抜きバルブ⑭
ヒートポンプ用水抜きせん（湯側）⑫
給水配管止水せん①
ヒートポンプ用水抜きせん（水側）⑬
給水配管
水源

長期不使用時（給湯機を1か月以上使用しないとき）

ご注意

○熱いお湯を流しますと排水管を損傷するおそれがありますので、お湯を使い切ってから排水してください。
○浴槽に水（湯）が残っている場合には空にしてください。残水があると水抜きはできません。

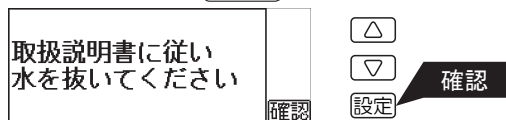
【お知らせ】
○当日、お湯を使用する予定がない場合は、前日に湯沸し停止日数を「2日」に設定しておくことをおすすめします。

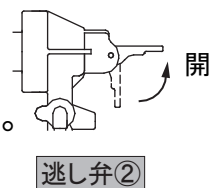
P.32

1 設定 を押し、【その他設定】を選びます。

2 【水抜きモード】を選びます。

3 【入】を選びます。

4 内容を読み 設定 を押します。

5 給水配管止水せん①を閉じてから、逃し弁②のレバーを水平に上げます。

逃し弁②

6 排水せん③を「排水」の向きにします。

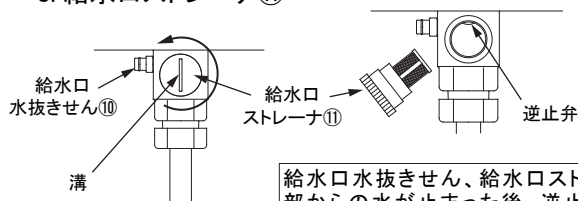
排水するのに1時間ほどかかります。

排水せん③

こんなときは

7 タンクの排水が終わったら、以下の順に給湯機の水抜きをします。

●貯湯ユニット(8 か所)

1. ふろ往き水抜きせん④
2. ふろ戻り水抜きせん⑤
3. ポンプ水抜きせん⑥
4. ヒートポンプ配管水抜きせん(水側)⑦
5. ヒートポンプ配管水抜きせん(湯側)⑧
6. 給湯口水抜きせん⑨
7. 給水口水抜きせん⑩
8. 給水口ストレーナ⑪

給水口ストレーナ⑪はコインなどを溝に差し入れ左に回して取りはずします。

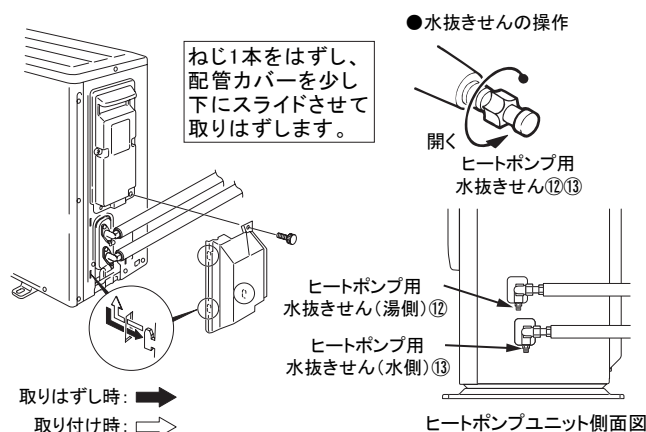
給水口水抜きせん、給水口ストレーナ部からの水が止まった後、逆止弁を水が出なくなるまで押し上げてください。
※逆止弁は口元から約3cm奥の上部にあります。

●ヒートポンプユニット (2 か所)

⚠警告	運転直後はヒートポンプ用水抜きせんが熱くなっていることがあります。 十分に時間をおいて操作してください。

9. ヒートポンプ用水抜きせん(湯側)⑫
10. ヒートポンプ用水抜きせん(水側)⑬

洗面器などで水を受けてください。ふろ配管、ヒートポンプ配管に水抜きバルブ⑭が設けられている場合は、開けて配管内の水抜きを行ってください。

ヒートポンプユニット側面図

8 内容を読み [設定] を押します。

> 水がすべて
> 抜けたことを
> 確認してください
> 確認

[△] [▽] [設定] 確認

水抜きモード運転を行います。
水抜きモード運転は 30 分ほどで終わります。

> 水抜きモード運転中
> ※約30分かかります

9 水抜きモード運転終了後、すべての水抜きせん・ストレーナを閉じ、ポンプ水抜きせん⑥のビニールホースをしまい [設定] を押します。

> 水抜き栓を閉じて
> ください
> 確認

[△] [▽] [設定] 確認

10 電源ブレーカー⑮と漏電しゃ断器電源レバー⑯を「OFF(切)」にします。

> 水抜き完了
> 電源ブレーカーと
> 漏電しゃ断器を「切」
> にしてください

再びご使用になるときは ➡ P.12

【お知らせ】

○ ③で選択後、右図の表示が出たときは、画面が切り替わるまでお待ちください。

> 実行中の動作を
> 終了しています
> (10分程度かかる
> 場合があります)

○ ⑤で給水配管止水せん①が閉じられていないと右図の表示が出ます。[設定]を押して、最初からやり直してください。

> タンクの水を抜いて
> 再度行ってください
> 確認

○ ⑧の操作後、右図の表示が出たときは、給湯機にエラーが発生している場合があります。エラー内容を確認し、「コントローラにエラーが表示されたとき」(➡ P.59)を参照してください。

> 水抜きが
> できませんでした
> 確認

短期不使用時 (給湯機を1か月未満で使用しないとき)

1 電源ブレーカー⑮と漏電しゃ断器電源レバー⑯を「OFF(切)」にします。

2 給水配管止水せん①を閉じます。

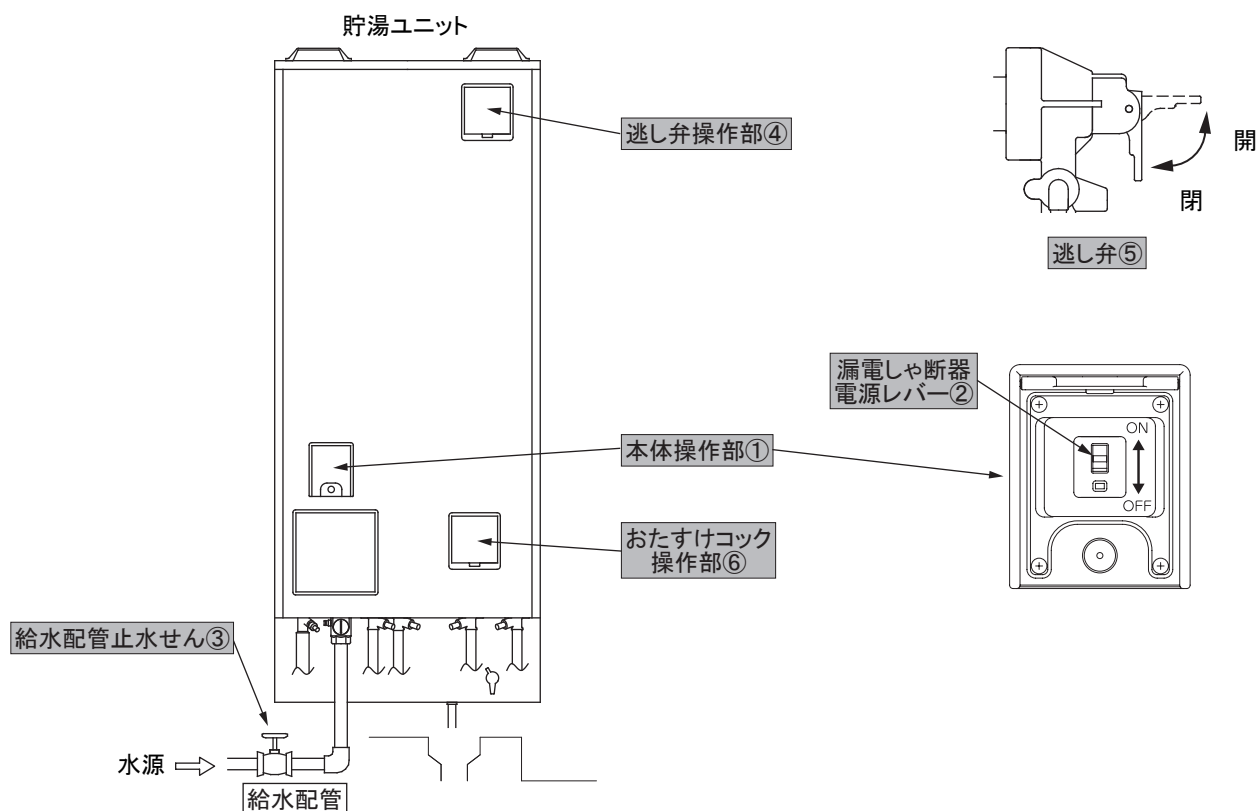
再びご使用になるときは、タンク内の水を入れ替えてからご使用ください。

ご注意

凍結のおそれがあるときは、1 か月未満の使用しないときでも「長期不使用時」の項に従ってください。

おたすけコックを使うとき

■貯湯ユニットの内部に、おたすけコックの水せんがあります。
■万一の非常時には、おたすけコックの水せんからタンクの水（湯）を出して使用することができます。

⚠警告	おたすけコックから熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

1 本体操作部①のカバーを開けて、
漏電しゃ断器電源レバー②を「OFF（切）」にします。

2 給水配管止水せん③を閉めます。

3 逃し弁操作部④のカバーを開けて、
逃し弁⑤のレバーを上げます。

4 おたすけコック操作部⑥のカバーを開けて、
ホース⑦を引き出します。

5 ホース⑦の下にバケツなどを準備し、 おたすけコック⑧のレバーを開けます。
タンク内の水（湯）が出てきます。

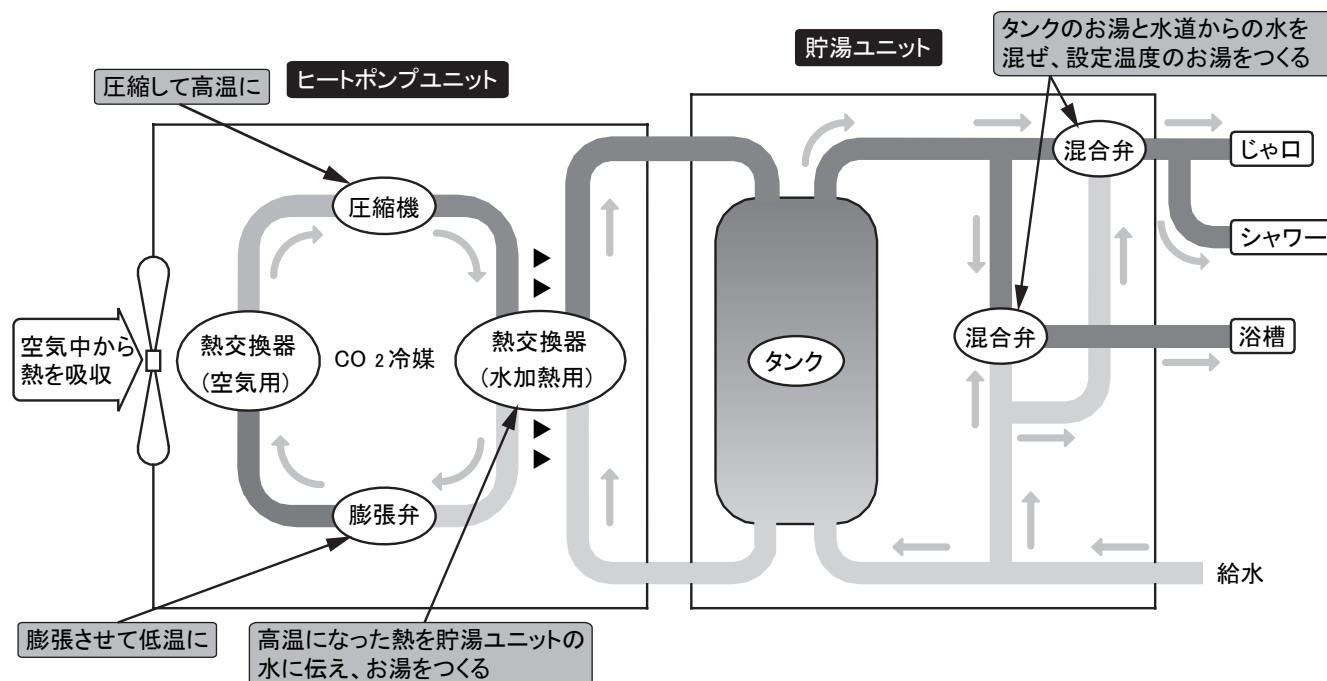
6 使用後は、 おたすけコック⑧を閉め、 ホース⑦から水（湯）が
出てこないことを確認してからホース⑦を戻してください。

7 おたすけコック操作部⑥のカバーを閉じてください。

【お知らせ】
○給湯機を再使用するときは ➡ P.12

エコキュートのしくみ

■エコキュートは、貯湯ユニットとヒートポンプユニットから構成されています。自然冷媒（CO_2）を使って、ヒートポンプユニットが大気の熱を回収し、お湯を沸かします。主に夜間時間帯にお湯を沸かし、タンクに貯めて使います。

「湯沸し」・「給湯」のしくみ

●主に夜間時間帯に湯沸しを行いますが、お客様の使用湯量を学習して、消費電力ができるだけ少なくなるように最適な湯沸しをするため、昼間時間帯でも湯沸しを行うことがあります。

●タンクのお湯は、給湯や湯はりなどで使用した分減りますが、使用した分給水されるため、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。

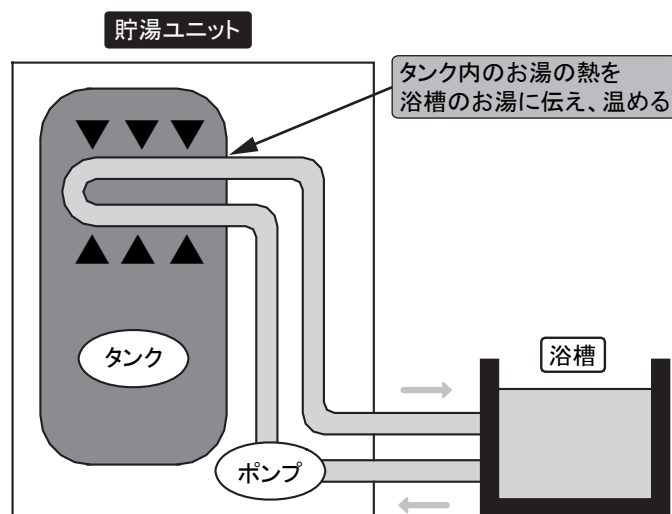
「保温」・「追いだき」のしくみ

●高温のお湯が貯められたタンクの熱交換器に、ポンプで浴槽の冷めたお湯を送り込み、熱交換して追いだきします。

●ふろ配管は独立した回路になっているため、浴槽のお湯は、タンク内のお湯と混ざりません。

●タンクの中のお湯が少なかったり、温度が低かったりするときは、追いだき能力が落ちます。あらかじめ沸増しをしてから追いだきしてください。

●前日の残り湯を沸かし直すとタンク内のお湯の熱をたくさん使います。そのため、湯切れしやすくなったり、湯沸し量が増える場合があります。
前日の残り湯を沸かし直すより、浴槽内の湯（水）を排水して、新たに湯はりすることをおすすめします。

仕様

	項目				
システム	品番※1	EQS3708UFA-NS	EQS3708UFA-NE	EQS4608UFA-NS	EQS4608UFA-NE
	仕様	一般地向標準仕様	一般地向耐塩害仕様	一般地向標準仕様	一般地向耐塩害仕様
	タイプ	フルオート（ふろ全自動）			
	適応電力制度	時間帯別電灯・季節別時間帯別電灯（通電制御型）			
	電源	単相 200V 50-60Hz			
	最大電流	16A	16A	17A	17A
	沸き上げ温度範囲	約 65℃～ 90℃			
	冬期高温沸き上げ温度	約 90℃			
	着霜期高温沸き上げ温度	約 90℃			
	年間給湯保温効率（JIS）※2［区分名］	3.0 ［17］	3.0 ［17］	3.0 ［17］	3.0 ［17］
	夜間消費電力量比率	80%	80%	80%	80%
	給水器具認証番号	A-403（公益社団法人日本水道協会）			
貯湯ユニット	品番※1	EC-3708KU-FANS	EC-3708KU-FANE	EC-4608KU-FANS	EC-4608KU-FANE
	タンク容量	370L		460L	
	非常用有効貯水量	295L		385L	
	制御用消費電力	最大125W ～ 4W			
	凍結防止ヒーター	16W（4W×4）			
	設置区分	屋内・屋外兼用			
	設置可能最低外気温度	-10℃			
	水側最高使用圧力 / 減圧弁設定圧力	190kPa / 170kPa（高圧力型）			
	給湯温度	水温、30℃、35℃～50℃（1℃刻み）、55℃、60℃			
	湯はり温度	水温、35℃ ～ 48℃（1℃刻み）			
	湯はり水位	3cm刻み（10段階）、循環金具から5～32cm（最大400L）			
	外径寸法（幅×奥行×高さ）	630×730×1860（mm）		630×730×2165（mm）	
	質量（満水時）	73kg（443kg）		81kg（541kg）	
ヒートポンプユニット	品番	THP-SU45-L	THP-SU45-L-BS	THP-MU60-L	THP-MU60-L-BS
	設置区分	屋外専用			
	設置可能最低外気温度	-10℃			
	中間期標準加熱能力※4 / 消費電力	4.5kW / 1.04kW		6.0kW / 1.38kW	
	中間期標準運転電流※4	5.8A		7.3A	
	冬期高温加熱能力※3※5 / 消費電力	4.5kW / 1.50kW		6.0kW / 2.00kW	
	運転音※7（中間期※4 / 冬期※5）	38dB / 43dB		42dB / 45dB	
	冷媒名称/封入量	R744（CO_2）/0.76kg		R744（CO_2）/0.78kg	
	設計圧力	高圧：14MPa/低圧：8.5MPa			
	外径寸法（幅×奥行×高さ）※突起物除く	800×285×638（mm）		800×285×715（mm）	
	質量	43kg		45kg	

	項目		
システム	品番※1	EQS3708UFA-KS	EQS4608UFA-KS
	仕様	寒冷地向標準仕様	
	タイプ	フルオート（ふろ全自動）	
	適応電力制度	時間帯別電灯・季節別時間帯別電灯（通電制御型）	
	電源	単相 200V 50-60Hz	
	最大電流	19A	19A
	沸き上げ温度範囲	約 65℃～ 90℃	
	冬期高温沸き上げ温度	約 90℃	
	着霜期高温沸き上げ温度	約 90℃	
	寒冷地冬期高温沸き上げ温度	約 90℃	
	年間給湯保温効率（JIS）※2	3.0	3.0
	寒冷地年間給湯保温効率（JIS）［区分名］	2.7 ［21］	2.7 ［21］
	夜間消費電力量比率	80%	80%
	給水器具認証番号	A-403（公益社団法人日本水道協会）	
貯湯ユニット	品番※1	EC-3708KU-FAKS	EC-4608KU-FAKS
	タンク容量	370L	460L
	非常用有効貯水量	295L	385L
	制御用消費電力	最大125W ～ 4W	
	凍結防止ヒーター	44W（12W×3＋8W）	
	設置区分	屋内・屋外兼用	
	設置可能最低外気温度	-15℃	
	水側最高使用圧力 / 減圧弁設定圧力	190kPa / 170kPa（高圧力型）	
	給湯温度	水温、30℃、35℃～50℃（1℃刻み）、55℃、60℃	
	湯はり温度	水温、35℃ ～ 48℃（1℃刻み）	
	湯はり水位	3cm刻み（10段階）、循環金具から5～32cm（最大400L）	
	外径寸法（幅×奥行×高さ）	630×730×1860（mm）	630×730×2165（mm）
	質量（満水時）	73kg（443kg）	81kg（541kg）
ヒートポンプユニット	品番	THP-LUK45-L	THP-LUK60-L
	設置区分	屋外専用	
	設置可能最低外気温度	-25℃	
	中間期標準加熱能力※4 / 消費電力	4.5kW / 0.95kW	6.0kW / 1.30kW
	中間期標準運転電流※4	5.4A	7.4A
	冬期高温加熱能力※3※5 / 消費電力	4.5kW / 1.50kW	6.0kW / 2.00kW
	寒冷地冬期高温加熱能力※6	4.5kW	6.0kW
	運転音※7（中間期※4 / 冬期※5）	38dB / 43dB	42dB / 45dB
	冷媒名称/封入量	R744（CO_2）/1.1kg	
	設計圧力	高圧：14MPa/低圧：8.5MPa	
	外径寸法（幅×奥行×高さ）※突起物除く	809×300×715（mm）	
	質量	54kg	

●運転性能は、日本工業規格 JIS C9220：2011 に基づく数値です。

※1 漏水検知仕様は、システム品番、貯湯ユニット品番の末尾に「R」が追加されます。

※2 運転モード：「おまかせ節約」、着霜期給湯モード性能試験時の沸き上げ温度 70℃、冬期給湯モード性能試験時の沸き上げ温度 65℃
年間給湯保温効率は日本工業規格 JIS C9220：2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量および
ふろ保温熱量を表したものです。

※3 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。

※4 中間期標準条件［外気温度（乾球温度 / 湿球温度）16℃/12℃、給水温度 17℃、沸き上げ温度 65℃］

※5 冬期高温条件［外気温度（乾球温度 / 湿球温度）7℃/6℃、給水温度 9℃、沸き上げ温度 90℃］

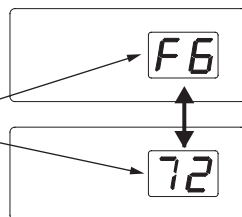
※6 寒冷地冬期高温条件［外気温度（乾球温度 / 湿球温度）-7℃/-8℃、給水温度 5℃、沸き上げ温度 90℃］

※7 運転音は JIS C9220：2011 に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した値です、実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、
表示値より大きくなるのが普通です。

$$\text{年間給湯保温効率} = \frac{\text{一年で使用する給湯とふろ保温に係る熱量}}{\text{一年で必要な消費電力量}}$$

コントローラにエラーが表示されたとき

■コントローラにエラーが表示された場合は、下記の処置方法に従って処置を行ってください。

＜エラー表示例＞

■お知らせ表示

下記に従って処置しても、再び表示したり不具合がある場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。

エラー表示	原因	処置方法	エラー表示の解除方法
F631	給水配管止水せんが閉じているか、断水している可能性があります。	給水配管止水せんが開いていること、断水が解除されていることを確認してください。	ランプが点滅しているスイッチを押して解除します。
	配管が凍結している可能性があります。	販売店に連絡してください。	
	給水ロストレーナが目詰まりしている可能性があります。	給水ロストレーナを掃除してください。 P.47	
F524	浴槽の循環金具のフィルターが目詰まりしている可能性があります。	循環金具のフィルターを掃除してください。 P.46	
	配管が凍結している可能性があります。	販売店に連絡してください。	
F661	初回のふろ自動運転時に、浴槽に残水がありました。	浴槽の水を全て排水して、再度ふろ自動運転をしてください。	
F671 F672	浴槽の排水せんを開けたままふろ自動運転を行ったか、ふろ自動運転中に排水せんを抜いた。	浴槽の排水せんを閉めてふろ自動運転をしてください。	
	浴槽の循環金具のフィルターが目詰まりしている可能性があります。	循環金具のフィルターを掃除してください。 P.46	
	配管が凍結している可能性があります。	販売店に連絡してください。	
F673	浴槽の排水せんの閉まりが不十分な状態でふろ自動運転を行ったか、ふろ水位設定が高くふろ自動運転時にお湯があふれています。	浴槽の排水せんやふろ水位設定を確認してください。	
E721 E722 C734 HC03 HC19 HC20 HC21 HC30	貯湯ユニットの排水せんがきちんと「通常」の位置になっていない可能性があります。 排水せんの場所を確認するときは P.6	貯湯ユニットの排水せんをしっかり「通常」の位置にしてください。	貯湯ユニットの漏電しゃ断器電源レバーを一旦「OFF（切）」にして、再び「ON（入）」にします。

■EQS**08UFA−**Rのみに表示されるエラー表示（下記の処置をして、販売店に連絡してください。）

エラー表示	内容	処置方法
E891	貯湯ユニット内で水漏れしている可能性があります。	200V電源ブレーカーを切り、給水配管止水せんを閉じてから（凍結のおそれがある時期は、200V電源ブレーカーを切らずに）、お買上げの販売店にご連絡ください。

■その他の表示（下記の処置をして、販売店に連絡してください。）

エラー表示	内容	処置方法
C＊＊＊ E＊＊＊ F＊＊＊ U＊＊＊ H＊＊＊	給湯機の点検が必要です。	200V電源ブレーカーを切り、給水配管止水せんを閉じてから（凍結のおそれがある時期は、200V電源ブレーカーを切らずに）、お買上げの販売店にご連絡ください。 その際は、製品名・品番・症状・エラー表示内容を合わせてご連絡ください。

故障かな？と思ったら

■次のような症状が出ている場合には、給湯機の故障でない場合があります。
修理をご依頼される前に、以下の点をご確認ください。

貯湯ユニット・ヒートポンプユニット

こんなときは	確認内容と処置
排水口から お湯（水）が出ている	・湯沸し中ではありませんか？ ⇒湯沸し中に貯湯ユニットの排水口よりお湯（水）が出るのは故障ではありません。 タンク内の水がお湯になるときの膨張水が排水口より排出されます。 一晩で約 10L 程度排水されます。
	・湯沸し中以外にお湯（水）が出ている場合は、逃し弁の点検を行ってください。 P.46 お湯（水）が止まらないときは、販売店に相談ください。
湯沸ししない	・200V 電源ブレーカーまたは貯湯ユニットの漏電しゃ断器が「OFF（切）」になっていませんか？ ⇒「OFF（切）」になっているときは、「ON（入）」にしてください。 P.12 ※2、3 度続く場合は故障のおそれがありますので、販売店にご相談ください。
	・本日湯沸し休止、湯沸し停止日数、ウィークリー湯沸しが設定されていませんか？ ⇒設定を確認してください。 （本日湯沸し休止 P.31、湯沸し停止日数 P.32、ウィークリー湯沸し P.33）
	・コントローラの現在時刻は設定されていますか？（合っていますか？） ⇒現在時刻が設定されていない場合やずれている場合は、正しく設定してください。 P.16
	・夜間時間開始時に残湯がある場合や、夜間の湯沸し目標湯量が少ない場合は、 自動的に湯沸し開始時刻を遅らせて、朝方に沸き上がるようにします。（ピークシフト機能）
翌朝になってもタンク 満タンまで湯沸ししていない	・お客様の過去の使用量を学習し、必要な湯量を計算して湯沸しするため、タンク満タンまで 湯沸ししない場合があります。
ヒートポンプユニットから 水や湯気が出る	・ヒートポンプユニット背面のアルミ部に霜がついていませんか？ ⇒結露した水や霜取りのため、水や湯気が出ます。
	・湯沸し中ではありませんか？ ⇒ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水がドレン口より排水されます。
ヒートポンプユニットの 底面から水が漏れている	・ドレンホースに波打ちや上り勾配、詰まりがありませんか？（THP-SU45-L(-BS)、THP-MU60-L(-BS) の場合） ⇒ドレンホースに波打ちがなく、下り勾配になっていることを確認してください。
	・外気温や湿度によっては、底面が結露することがあります。異常ではありません。
ヒートポンプユニットが 運転･停止を繰り返している	・気温が低いときは、凍結予防運転や熱交換器の除霜のため、ファンの運転 ・ 停止を 繰り返します。
ヒートポンプユニットの 背面のアルミ部分が白くなる	・冬期運転中は、霜がつくことがあります。
ヒートポンプユニットから 音がする	・湯沸し中は運転音がします。冬期など外気温が低い環境では、運転音は大きくなる場合があります。
	・霜取り運転中は運転音が大きくなる場合があります。
本日湯沸し休止、 湯沸し停止日数を 設定しているのに湯沸しする	・外気温が低い場合は、給湯機内部や配管の凍結を予防するため、湯沸しを行う場合が あります。 P.52
ウィークリー湯沸しを 設定しているのに湯沸しする	・外気温が低い場合は、給湯機内部や配管の凍結を予防するため、湯沸しを行う場合が あります。 P.52
	・コントローラの現在時刻（年 ・ 月 ・ 日を含む）は合っていますか？ ⇒現在時刻（年 ・ 月 ・ 日を含む）がずれている場合は、正しく設定してください。 P.16
残湯量があるのに湯沸しする	・使いはじめ、または学習クリア後の学習期間中は、お湯が不足しないように湯沸しを行います。 P.34、P.51
	・お客様の過去の使用量により、お湯が不足しないように湯沸しを行います。
	・外気温が低い場合は、給湯機内部の凍結を予防するため、湯沸しを行う場合があります。 P.52

給湯

こんなときは	確認内容と処置
お湯から油が出る お湯が臭い	・はじめてご使用のとき、お湯や水に油が浮くことがあります。これは、配管工事の際の油が 残っているためで、約 1 週間くらい使用すると消えて正常になります。
お湯が白く濁って見える	・水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されるため、細かい気泡と なって出てくる現象で、全くの無害です。

こんなときは	確認内容と処置
お湯が出ない お湯の出が悪い	・断水していませんか？ ⇒最寄りの水道局にお問い合わせください（断水が解除されるまでお待ちください）。
	・給水配管止水せんが閉じていませんか？ ⇒給水配管止水せんを開けてください。 ➡P.12
	・配管が凍結していませんか？ ⇒販売店にご相談ください。
	・給湯を 2 か所以上同時に使用したり、給湯と湯はり動作を同時に行っていませんか？ ⇒複数同時に使用するとお湯の勢いは弱くなります。
	・サーモスタット式湯水混合せんを使用していませんか？ ⇒サーモスタット式湯水混合せんを使用するときは、コントローラの給湯温度を使用するお湯の温度よりも高く設定していただくことでお湯の出が改善する場合があります。 ➡P.17
	・給水口ストレーナが目詰まりしていませんか？ ⇒給水口ストレーナの清掃をしてください。 ➡P.47
給湯温度が 安定しない	・給湯の出湯、停止を繰り返し行っていませんか？ ⇒給湯開始直後は、出湯温度が安定しないことがあります。
	・給湯中に湯はり、たし湯、高温たし湯、ぬる湯を行っていませんか？ ⇒湯はり関連動作と同時使用した場合、一時的に圧力のバランスが崩れ、出湯温度が安定しないことがあります。
お湯が不足する	・普段より多くお湯を使用していませんか？ ⇒普段の使用量に合わせて湯沸しするため、急に多くお湯を使用するとお湯が不足する場合があります。 お湯を追加で沸かす場合は、沸増しをしてください。➡P.30 来客等で一時的にお湯の使用量が増えることが分かっている場合は、前日に夜間満タンを設定してください。➡P.35 家族が増えたなどで恒久的に使用量が増える場合は、湯沸し学習クリアを行ってください。➡P.51 湯切れ沸増し量を設定すると、残湯量が設定量を下回ったとき、自動で沸増しを行います。➡P.36
	・前日の夜間時間帯にお湯を使用していませんか？ ⇒夜間時間帯にお湯を使用すると、翌朝お湯が沸き上がらないことがあります。夜間不足分沸増し（➡P.37）を「許可」に設定すると、不足分を追加で沸増しします。または必要に応じて沸増し（➡P.30）をしてください。
	・湯沸し中以外のときに、排水口からお湯（水）が流れていませんか？ ⇒逃し弁の点検（➡P.46）を行ってください。お湯（水）が止まらないときは、販売店にご相談ください。
お湯がぬるい 水が出る	・画面に「お湯がありません」と表示されていませんか？ ⇒残湯が残っていない場合や、タンクのお湯の温度が低い場合は、設定温度のお湯を出すことができない場合があります。必要に応じて、沸増し（➡P.30）をしてください。
	・サーモスタット式湯水混合せんを使用していませんか？ ⇒サーモスタット式湯水混合せんを使用するときは、コントローラの給湯温度を使用するお湯の温度よりも高く設定していただくことで温度が安定する場合があります。
	・配管が長いとき、放熱のため設定温度より低い温度のお湯が出る場合があります。

ふろ

こんなときは	確認内容と処置
湯はりしない	・断水していませんか？ ⇒最寄りの水道局にお問い合わせください（断水が解除されるまでお待ちください）。
	・給水配管止水せんが閉じていませんか？ ⇒給水配管止水せんを開けてください。➡P.12
	・配管が凍結していませんか？ ⇒販売店にご相談ください。
	・給水口ストレーナが目詰まりしていませんか？ ⇒給水口ストレーナの清掃をしてください。➡P.47
	・画面に「お湯がありません」と表示されていませんか？ ⇒残湯が残っていない場合や、タンクのお湯の温度が低い場合は、湯はりを行うことができません。必要に応じて、沸増し（➡P.30）を行ってください。
追いだきしない	・画面に「追いだきできません」と表示されていませんか？ ⇒残湯が残っていない場合や、タンクのお湯の温度が低い場合は、追いだきを行うことができません。詳細は、【故障ではありません】（➡P.23）を参照してください。
保温運転しない	・保温時間は設定されていますか？ ⇒保温時間が「なし」に設定されている場合、保温運転は行いません。➡P.29
	・画面に「保温できません」と表示されていませんか？ ⇒残湯が残っていない場合や、タンクのお湯の温度が低い場合は、保温運転を行うことができません。詳細は、【故障ではありません】（➡P.23）を参照してください。

故障かな？と思ったら

ふろ（続き）

こんなときは	確認内容と処置
自動たし湯しない	・自動たし湯が「切」になっていませんか？ ⇒自動たし湯を「入」に設定してください。➡ P.29
	・湯はりモードが「急速」ではありませんか？ ⇒湯はりモードが「急速」の場合、自動たし湯は行いません。自動たし湯機能を使う場合は、湯はりモードを「標準」に設定してください。➡ P.19
湯はり時間が長い	・給水ロストレーナが目詰まりしていませんか？ ⇒給水ロストレーナの清掃をしてください。➡ P.47
	・設置後初めてのふろ自動運転ではありませんか？ ⇒ふろ自動の初回運転では、浴槽の形状を把握するため、湯はりに時間がかかります。➡ P.50
	・湯はり情報クリア（➡ P.50）をしませんでしたか？ ⇒クリア後、ふろ自動の初回運転では、浴槽の形状を把握するため、湯はりに時間がかかります。
	・湯はり中にほかの場所でお湯を使っていませんか？ ⇒同時使用すると湯はりに時間がかかる場合があります。
浴槽の水位が高い（低い） 水位が安定しない	・ふろ水位の設定が高く（低く）設定されていませんか？ ⇒ふろ水位の設定を下げて（上げて）ください。➡ P.20
	・湯はり中にじゃ口などからお湯をたしていませんか？ ⇒じゃ口などからお湯をたすと、あふれることがあります。
	・浴槽に残り湯がある状態で湯はりしていませんか？ ⇒残り湯がある状態でふろ自動運転を開始すると、残り湯の量によって水位が変動する場合があります。特に、湯はりモードを「急速」にしたときは、必ず浴槽を空にしてから運転を開始してください。➡ P.21
	・循環金具にゴミ等が詰まっていませんか？ ➡ P.46 ⇒循環金具にゴミ等が詰まっていると水位が安定しない場合があります。循環金具の清掃を行ってください。
	・設置後初めてのふろ自動運転ではありませんか？ ➡ P.50 ⇒ふろ自動の初回運転では、浴槽の形状を把握するため、設定水位よりも多く湯はりする場合があります。
	・湯はり情報クリア（➡ P.50）をしませんでしたか？ ⇒クリア後、ふろ自動の初回運転では、浴槽の形状を把握するため、設定水位よりも多く湯はりする場合があります。
スイッチを押していないのにふろ循環運転をする 循環金具から水（湯）が出る	・ふろ自動運転中は、浴槽内の温度を確認するため、定期的に循環運転を行います。➡ P.18
	・外気温が低い場合、凍結予防のため循環運転を行います。➡ P.52
	・自動配管洗浄を「入」にしていませんか？ ➡ P.27 ⇒自動配管洗浄を「入」にしたとき、ふろ自動運転終了後に浴槽の水を排水すると、洗浄のため水を流します。
	・ふろ自動運転をほとんど使用しない場合、給湯機の保護のため、固着防止運転（湯はり・循環運転）を行います。
	・弁にゴミがかんで水が漏れている場合があります。販売店にご相談ください。
浴槽の温度が高い	・ふろ温度が高く設定されていませんか？ ⇒ふろ温度の設定を下げてください。➡ P.20
	・追いだき運転中ではありませんか？ ⇒追いだき運転を停止してください。➡ P.22
浴槽の温度が低い 追いだきしても温度が上がらない	・ふろ温度が低く設定されていませんか？ ⇒ふろ温度の設定を上げてください。➡ P.20
	・残湯量が少ないとき、タンクのお湯の温度が低いときは、湯はり温度が設定温度より低くなったり、追いだきに時間がかかったりする場合があります。ふろ自動沸増し（➡ P.37）を許可に設定するか、必要に応じて、沸増し（➡ P.30）を行ってください。
	・ふろ配管や浴槽の放熱により、設定温度よりも低くなることがあります。特に冬期は浴槽の湯温が下がりやすいので、浴槽にふたをしたり、ふろ温度を上げたりしてください。➡ P.20
	・循環金具にゴミ等が詰まっていませんか？ ➡ P.46 ⇒循環金具にゴミ等が詰まっていると追いだきできない場合があります。循環金具の清掃を行ってください。
浴槽の水が青く見える	・光の波長の関係や、浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また銅配管から溶出したわずかな銅イオンに浴槽や洗面部材などが青くなることがありますが、異常ではありません。

コントローラ

こんなときは	確認内容と処置
何も表示されない	・ 200V 電源ブレーカーまたは本体の漏電しゃ断器が「OFF（切）」になっていませんか？ ⇒「OFF（切）」になっているときは、「ON（入）」にしてください。 P.12 ※2、3 度続く場合は故障のおそれがありますので、販売店にご相談ください。
	・ 停電していませんか？ ⇒停電が解除されるまでお待ちください。
	・ メインコントローラの表示は、バックライト、給湯バックライトの設定（ P.43）に従って、点灯・消灯します。バックライトが消灯しているときは、給湯設定温度や優先表示など、メインコントローラの表示が消えます。
バックライトが消える・勝手に点灯する	・ バックライトの設定が「1 分自動消灯（初期設定）」、「5 分自動消灯」になっていませんか？ ⇒常時バックライトを点灯させるときは、「常時点灯」に設定してください。 P.43
	・ 給湯バックライトが「入」になっていませんか？ ⇒給湯時にバックライトを点灯させないようにするときは、「切」に設定してください。 P.43
表示が薄い（濃い）	・ フロコントローラのコントラストを設定してください。 P.43
スイッチ操作音が出ない	・ スイッチ操作音が「切」になっていませんか？ ⇒スイッチ操作音を「入」に設定してください。 P.44
文字ガイドが表示されない	・ 文字ガイドが「切」になっていませんか？ ⇒文字ガイドを「入」に設定してください。 P.42
給湯温度が変更できない	・ コントローラに「優先」表示がされていますか？ ⇒「優先」が表示されているコントローラのみ、給湯温度を変更できます。 P.17
使用湯量チェックで表示される使用湯量が実際の使用湯量と異なる	・ 使用湯量は 43℃換算で表示されます。 P.40
お湯を使用していないのにのこり湯量／残湯表示が減る	・ 追いだきを行っていませんか？ P.57 ⇒追いだきはタンクの熱を使用するため、タンクの湯温が下がり、使用できるのこり湯量が少なくなります。
	・ お湯を使用していない場合でも、タンクからの放熱により、値や表示が変化する場合があります。
	・ 湯沸し中以外のときに、排水口からお湯（水）が流れていませんか？ ⇒逃し弁の点検（ P.46）を行ってください。お湯（水）が止まらないときは、販売店に相談してください。
「お湯がありません」がずっと表示されている	・ タンクの残湯が無くなると、「湯切れ注意」表示とともに、「お湯がありません」と表示されます。タンクの残湯が 1 目盛り以上点灯するまで表示は消えません。
メインコントローラに「Lo」と表示されている	・ 給湯設定温度が「水温」のとき、メインコントローラでは「Lo」と表示します。 P.17

アフターサービス

【サービス（点検 ・ 修理）を依頼される前に】

故障かな？と思ったら（ P.60 ～ 63）の項をもう一度ご確認ください。
確認の上でそれでも不具合のある場合あるいは不明な場合は、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、またはフリーダイヤル（ 裏表紙）へご連絡ください。

【保証について】

・ 本製品には保証書がついています。（別添）
・ 「保証書」はお買い求めの販売店が、お買い上げ日など所定事項を記入しますので、記載内容をご確認いただき、保証規定をよくお読みのうえ大切に保管してください。
・ 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
・ 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

保証期間は、お買い上げ日より
本体（貯湯ユニット）:1年間
本体（ヒートポンプユニット）:2年間
タンク（貯湯ユニット内）:5年間
冷媒系統（ヒートポンプユニット内）:3年間です。

【補修用性能部品の保有期間について】

・ この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 7 年です。
・ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービス（前ページからの続き）

【故障 ・ 修理の際の連絡先】

・ 保証期間経過後、修理を依頼されるときは、まずお買い上げの販売店に相談してください。
　修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

・ アフターサービスのご依頼や不明な点のお問い合わせは、まずお買い上げの販売店へご連絡ください。お買い上げの販売店連絡先は、フロコントローラにて確認することができます。メニュー画面より「その他設定」を選び、「販売店連絡先」を選ぶと右記の画面がフロコントローラに表示されます。販売店連絡先は、登録されている場合のみ電話番号が表示されます。
　販売店連絡先がおわかりにならない場合は下記フリーダイヤルにご連絡ください。

販売店連絡先
0000-000-000
タカラスタンダード修理受付
0120-557-910

登録されている場合

販売店連絡先
登録されていません
タカラスタンダード修理受付
0120-557-910

登録されていない場合

0120ー557ー910	受付時間9：00～18：00 （土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

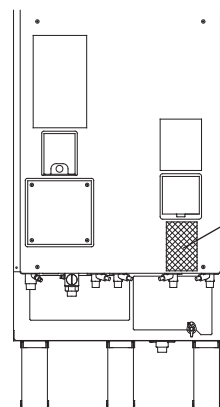
※PHS・携帯電話・IP電話等で一部通話ができない場合があります。

【修理を依頼される際のお願い】

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

（1）製品名、品番、製造番号（定格表示シールに記載）
（2）異常の状況
（3）ご購入年月日
（4）お名前、ご住所、お電話番号

【修理料金のしくみ】

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

【廃棄について】

この商品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

タカラスタンダードお客様サポートサイト　http://www.takara-standard.co. jp/support/index.html

インターネットでの修理のご依頼も可能です。
< 修理のご依頼 >　修理のご依頼をインターネットより受け付けております。
　修理受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。
< よくあるご質問 >　お客様よりお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。
　修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

※お客様の個人情報について
　個人情報保護に関する法令を厳守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関係会社を含めた全社に徹底を図っております。詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

愛情点検　※ 長年ご使用の給湯機の点検を！

こんな症状はありませんか	・設置場所が濡れている。 ・お湯がぬるい。 ・お湯が熱い。 ・漏電しゃ断器が自動的に「OFF（切）」になる。 ・湯沸し中以外に逃し弁から水が漏れる。 ・その他の異常・故障がある。

ご使用中止	事故防止のため、200V 電源ブレーカーを切り、給水配管止水せんを閉めてから、販売店（据付工事店）または、修理受付フリーダイヤルに点検・修理（有料）をご相談ください。

タカラスタンダード株式会社

本社　〒536-8536 大阪市城東区鴫野東 1 丁目 2 番 1 号

< 製造元 > 貯湯ユニット：タカラスタンダード株式会社
< 製造元 > ヒートポンプユニット：三菱電機株式会社

11037569
14K-1
EC-CS7 取説